京城日報

廿五日夕刊

本紙定價　一部金五錢　一ヶ月金六拾五錢　三ヶ月金壹圓九拾錢　六ヶ月金三圓七拾錢　一ヶ年金七圓

廣告料　五號活字一行金六拾錢　▲欄外一行金壹圓　▲三號活字は五號活字の二倍

發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　谷口政太郎
發行所　京城太平通一丁目　合資會社 京城日報社

○露國へ讓渡 分捕軍艦の價格

我國より露國政府に對し返却せらる可しと傳へらるゝ日露戰役分捕軍艦は宗谷、丹後、相模の三軍艦にして讓渡價格は一千五百萬圓にして議會の承認を求む可しと（東京電報）

○露國外相の演說　日本の協同動作―日露關係最も親善

露都來電に據れば露國外相サゾノフ氏は國民議會に於て演說を試みて曰く日本は相變らず聯合國と協同動作を取り以つて戰爭に參加し居れり這の日本の態度は聯合國に取りて最も貴重にして且つ有益なる者なり日露兩國は最も親善なる關係を維持し相協力し居れりと（紐育電報）

○日艦の遊弋と英國の緘默

日本海軍地中海に遊弋しつゝありとの諸報道傳へられつゝあるが之に對し英國海軍當局は默して何事をも語らず（紐育電報）

○英國勞働黨員の言　聯合國の全勝不可能と說く―首相の聲明

英國下院に於て講和に關する討議あり席上勞働黨議員スノーデン氏曰く聯合國は到底敵軍を再び起つ能はざらしむるが如き勝利を收むる能はざる可きを信ず故に滿足す可き條件の下に戰爭を終了することは爲し能はざる可しと之に對し首相アスキス氏はスノーデン氏の意見は決して英國の輿論を代表し居らずと聲明せり（倫敦電報）

○米獨國交斷絕の外無し

米國大統領ウイルソン氏は若し今後尚は徒に獨逸と談判を重ぬるが如きことあらば最早獨逸との國交を斷絕するの外無かる可しとの意見を持し必要に應じ之を議會に諮る可しと思惟せられつゝあり（紐育電報）

○帝政延期發令の效無し

袁總統の帝政延期發令は南軍の反帝政熱緩和上何等の效果を奏せず南支一帶益々時局紛亂收拾し能はざる形勢にあり（東京電報）

○對支國論一致を圖る

頭山滿氏等は我對支國論の一致を圖らんと目下奔走中なり（東京電報）

○二十五日の兩院　日支滿洲兩銀行案握潰

貴族院は日支滿洲銀行法案を握潰せり妥協法案は二十五日の本會議に附議せる上通過の筈にして下院に於ては二十五日最後の議案たる追加豫算案及び華族世襲案を可決通過せり（東京電報）

○東拓案握潰か

東拓法改正案下院通過に關し一木內相等極力與黨の形勢緩和に努力せるも終に握潰と爲れりと（東京電報）

◎廣軌敷設決定

政府は廣軌鐵道敷設に決定せりと（東京電報）

◎第三回軍需品引受

朝鮮皮革會社にては過般露國政府との間に第三回軍需品注文引受の契約成立し既に製作に從事す可く諸般の準備中なり、今回は引受額約三百萬圓にして引渡期は本年八月中なりと

◎記念木杯交付

昨年十一月十六日紫宸殿[?]宮內に於て擧行せる總督府主催大典奉祝園遊會記念の木杯は三月十一日までに總督府會計課に於て交付する由なり

◎土木主任會同（第五日）

土木局出張所長並に各道土木主任會同は二十四日を以て終了したるより二十五日は事務打合せに入り午前九時三十分より總督府第二會議室に開催、關係各部長官局長課長等出席打合せの上午後三時散會せり

◎山林技官會同

總督府にては各道山林技術官並に營林廠長、技術官等を召集し二十八日より三月四日まで山林技術官會議を開催す可く、職場は第二會議室にて毎日午前九時三十分開會、午後三時散會の豫定なりと

◎定例長官會議

二十五日は定例長官會議日なるより寺內總督以下各部長官局長等は午前十時より總督府第二會議室に參集通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

◎井上中將出發

滯京中なりし交通兵團長井上中將は二十四日午後七時五十分南大門驛發汽車にて內地に向け出發したり

◎春季釋奠

春季釋奠は三月十三日午前九時より經學院に於て執行す可く總督府よりは寺內總督以下關係部局長官參席の筈なり

◎ハリス博士招待宴

宣敎師バンカー氏夫妻はハリス博士の退任送別の爲め三月四日午後三時より六時までハ氏をはじめ友人知己を貞洞の自邸に招きアット、ホームを開催す可しと因にハリス博士は退任せるも老後を日本に送り依然宗敎及び敎育事業に盡瘁す可しと

◎鮮滿直通列車遲延

東淸線にて故障の爲め廿五日午後八時五十分南大門驛着の筈なる鮮滿直通急行列車は長春を三時三十分延發せり

仁川

▲二月の金融　新穀出廻期に於る穀物貿易の活躍は延て內地に於る品薄れの聲を聞くに至り一方期米新市の不勢等に彷徨したる米價も月末には前月に比し八九十錢方の下落を爲すに至りて益々頭打の商狀を持續し一に鮮支人の思惑買をなすの外殆んど目醒しき取引なく市場閑散を呈したれば此方面に於ける資金の需要は頗る減殺せられたり一方輸移入品市場は這般節季を眼先に控へたる事とて相當活氣を以て終始せしも近來稀有の暖氣の爲め綿絲布金巾類の荷動き鈍狀を呈し資金の移動少く月末決濟及び歲末決濟の重りたる爲め多少の需要を喚びたる外何等特異の商狀を呈するに至らずして越月せり、前記の狀況を仁川四銀行支店の預金貸出狀況に就き前月と比較するに預金に於ては受入高二十四萬一千餘圓拂出高四十七萬五千餘圓を減少し月末殘高に於ては二十七萬一千餘圓を增加せり貸出に於ては貸出高二十二萬二千餘圓を減少し月末殘高に於ては二十七萬三千餘圓を減少せり又爲替受拂高に於ては受入合計三十四萬三千餘圓拂出合計六十八萬一千餘圓を減少し手形交換高に於ては二十七萬九千餘圓を減少せり叙上の如く預金貸出殘高の增加貸出殘高の減少其他爲替受拂高及手形交換高の縮少は金融の漸く緩漫なる域に歸ひたるを證するに足るべし

▲仁川經濟會總會　仁川經濟會にては廿五日午後六時より京城工業傳習所長豐永農學博士を招聘し總會を兼ね同氏の商業に關する有益なる講話ありたり

淸州

▲野田副總裁　二十三日午後六時淸州に到着本町明治館に投宿し同夜有志の歡迎宴及び歡迎此華[?]句會に臨席し二十四日は早朝より宿を訪うて揮毫を乞ふもの多く午前十時忠北物産陳列場及び市中を一巡して旅舍に入る途上北一樓の門を指して一句あり

花の頃閉して惜しき閣下門

晝食後少憩の後二時半發自動車にて鳥致院へ向け出發す

▲副總裁歡迎宴　野田東拓副總裁は二十三日夜七時より北一樓に於る野田東拓副總裁の歡迎會に臨む定刻一同席に着くや宇野法院支廳判事は立ちて歡迎の辭を述べ次いで副總裁は挨拶を兼ね途上の感想として鑛物に就きて語る先づ世界富強國の鑛産額と帝國の其れとを比較し列強の國勢は鑛産額に正比例するを說き此點に於て帝國は未だ一等國の班に加はる能はざるを說き序次滿蒙の鑛物に論及し忠北重石鑛の有望なるを以て國富增進の要なりとし終に國家的見地より其面目に採取せんことを慫通して著席するや一同は盃を擧げて副總裁の健康を祝して宴に移り歡談相踵いで起り非常の盛會なりき

▲京城直通電線　近來忠北地方鑛業の勃興熾くべきものあり爲に電信電話の取扱數頗る增加し從來各地にて中繼をなす必要上淸州京城間の電報發著甚だ遲滯し地方一般の不便尠少ならざりしが今回當局に於ても鑑る處あり先般來直通線架設中なりしが今回愈々工を竣げ同線使用は來る三月一日よりならんとのことなるが愈開通の曉は通信の敏捷を得て地方發展に資するもの多大ならん

▲臼井逓信技師來淸　總督府逓信局臼井技師は地方逓信狀況視察の爲め二十三日午後來淸本町四丁目淸州館に投宿す因に同氏は當地より淸州方面に向ふ由

○京釜線より（二）　神崎生

朝鮮に來て旣に七年、其間幾度此線を往來せしやを算する能はず、[illegible]て夜行のみにて沿線の景物は暗中に看過せしが今日側々たる[illegible]を得て[illegible]せるの感あり[illegible]先生の所謂る一山[illegible]色濃面我聲[?]（？）の絶句中の[illegible]鉤を想ひ出し候[illegible]（二十三日[illegible]）

忠州

▲野田大塊翁　東拓副總裁野田大塊翁は地方視察の爲め二十二日公州より鳥致院淸州を經て午後五時來忠官民有志の出迎を受け忠北館に投宿したるが例の揮毫を需めんとて來訪するもの多く絹紙譜撰紙色紙等數十枚に即吟の揮毫を爲し二十三日朝來郡廳の古蹟及び專賣課出張所の黃色煙草乾燥作業等を視察し淸州へ出發せり

大邱

▲木盃授與式　大邱公立高等女學校敷地買收寄附者に對し木盃下附の件に關しては旣に報せし所なるが既著の分は第一號九十個第二號三十二個第三號十四個第四號五個第七號二個第八號二個計百四十五個にして來る三月十五日府廳に於て授與式擧行の筈なるが記念木盃は朱塗に金桐章を畫きたる頗る美事なるものなり

▲輕鐵設立許可　朝鮮輕便鐵道株式會社發起人牟田口元學氏外二十一名より二月二日を以て會社設立出願を爲したるが二月十八日附を以て總督より許可ありたるに依り慶北道長官宛鐵道局長より通知ありたれば更に之を專務部に移牒せり

▲兵營設置期成會　大邱兵營設置期成會にては二十四日午後一時より臨時總會を開き敷地買收寄附金取纏めの件に就き凝議する所ありたり

▲果樹組合組織會　大邱果樹組合にては過般總會の際同業組合創設に關し發起人側會合し二十五日午後一時より府廳に於て創設組織の件に就き協議せり

▲慶州校舍豫算　慶州公立普通學校組合にては今回慶州公立小學校の[illegible]の議に決し[illegible]歲入出豫算及臨時追加三千三百二十二圓の豫算を爲したるが內千九百圓は地方費の補助を申請し殘額金千三百圓[illegible]二十二圓となれりと

▲達生水利組合設立　達生水利組合設立に就き代表者よりは設立認可申請中の所道廳當局よりは細密なる調査を遂げ右認可の件を關係部署に移牒したり

▲三井技師來邱　三井技師は地方事務視察並に巡回講話の爲め二十五日來邱す

▲本年の地方費　平安南道に於ける大正五年度の地方費豫算は目下道廳地方係に於て編成中なるが其經常臨時部歲出入合計額は國庫補助を合し昨年と大差なく二十五六萬圓內外ならんと

平壤

▲若見侍從武官　御差遣の若見侍從武官陸軍少將は廿四日午後一時卅分伊藤少將村井大佐其他官民多數の出迎へを受け直ちに步兵第卅一旅團司令部第六十九聯隊並に平壤衞戍病院の順序に巡視し當夜柳屋に一泊廿五日午前十時より上意を傳へたる上酒肴料を傳達して步兵隊を巡閲午後一時三十九分發列車にて南行す

▲百四十萬圓の牛　大正四年中平安南道に於ける居牛數は四萬一千頭の多數にて新政實施以來の新記錄なるが之れが爲め肉及び牛皮並に類の總價上換金高は少くも百四十萬圓に達し地方農家經濟を潤ほせし事大方ならずと但し右居牛夥多の結果道內生牛の減少は爭ふべからざるに付道當局にては目下其の生產增加策講究中なるが農村にありては當局の勸獎を待たず自ら進んで殖牛方法を講ずるものもありと

▲斧山面公立普通學校　平安南道に於ては明年度大同郡斧山面に一公立普通學校を新設する事となり其計畫出來せしが當局にては相成るべくば同面內所在の小私立學校の合同を希望しつゝある如し

▲黑鉛値上協議　安州の顯井[?]黑鉛鑛業家は目下の黑鉛價格に鑑み宜川の谷口及び外一二の黑鉛鑛業家と協議し鮮內產出の黑鉛量に限りあるに內地及び滿洲の造船鐵工界より增價用途として黑鉛注文續到するより需給の關係上此程新安州に會同協議の結果今後は一噸五百圓以下にては從來は噸を差控ふる事とせし由因に從來は三百圓乃至四百圓位なりしと

瑞興

▲實彈射擊　瑞興警察署にては二十三日南山山麓に於て永田署長監視の下に署員の實彈射擊を實行せり

▲記念事業　瑞興公立普通學校に於ては御大典記念事業として從前の學校林たる南山の地域を擴張し生徒一人に對し各苗十本宛を植栽し同時に金植貯金を爲したりと因に同校生徒總員は目下一百五十四人內汽車通學生三十人にして來る新學期よりは二百十餘人に達すべしと

▲小學校現況　瑞興公立小學校は昨大正四年九月二十四日初めて開校せるものなるが目下生徒十三人あり來る新學期には二三新入學者あるべき由なり當地學校組合員戶數は五十戶にして人口二百三十五人昨年に比し漸次增加せり

忠北途上　大塊

淸州北鄕宮に寄す
地は淸州咲くや此花句ふなり

忠州彈琴臺に遊びて
此臺や樹に殘る琴の音の
文錄の功の終りや今日の春

忠北東石窟を見る
富趣億[?]此處に彼處に若葉蔭
かね掘の鍬の音高し高麗の春

新幕

▲署長會議　新幕憲兵分隊內に於て二月二十日署長會議を開催終りて新幕消防組は警務部長及各警察署長臨監の下に消防演習を施行せり

▲中佐病死　京義線南川居住兵庫縣人退役陸軍砲兵中佐寄田精一氏は二月十八日現住地に於て病死す

▲校林擴張　新幕公立尋常小學校に於ては御大典記念事業として學校林を擴張し造林するに決せり同校生徒は現在七十五名なるが新學期開始と同時に十五六名入學するものありと

▲居住增加　新幕學校組合內に居住せる內地人の戶數は現在百九十四戶、人口六百餘人にして逐次增加の模樣あり

▲採鑛再開　新幕を去る二里に當る瑞興郡東部面自在洞松田金鑛は一時採掘中止の狀況なりしが本年解氷と同時に更に大規模の仕掛を以て採掘に著手する計畫中なるが將來有望の金山なりと云ふ因に經營者は奈良縣松田銀三郞氏也

鎭南浦

▲稅制一部改正　鎭南浦府に於ては府豫算歲入の缺陷を補ふ一方法として稅制一部の改正を行ふ事となりしが元來本府家屋稅附加稅は遠く隆熙三年の制定に係り地位等級に何等の顧慮を措かず單に建坪數により課稅し加ふるに三十坪以上は一律に八圓を賦課しつゝあり爲めに市民の負擔頗る不公平にして時勢に適せざるより今回家屋稅附加稅を廢止して新に建物稅を設定し南浦府內を一等より十等に分ち適當の標準により課稅を行はんとするもの目下府當局にて立案中なれば遠からず府協議會の諮問に附し道廳の認可を申請すべきが從來家屋稅附加稅は本稅の七割を課し六千六百圓を算し居りしも新稅となり何程の歲入增加を見るべきかは未だ明かならず

▲富田翁招待　二十三日南浦官民有志相謀り過回敍勳の恩命に浴せし富田儀作翁の招待祝宴を朝日館に擧ぐ

人事消息

▲正川安龜氏（土木局技師）　浚渫船[illegible]成檢查の爲め二十六日大阪へ（內訓）
▲岡部新五左衞門氏（關西明鏡新聞社長）　二十四日夜仁川より入京朝鮮旅館へ
▲カーチス氏（米國領事）　同日午後九時南大門[illegible]車にて赴任
▲スイストレール氏（[illegible]副領事）　廿四日夜列[illegible]
▲野田卯太郎氏（東拓副總裁）　同上列車にて歸京
▲筧井工學博士　入京中の處二十五日午前九時十分南大門發列車にて京都へ
▲中村光吉氏（朝鮮銀行員）　廿五日朝九時二十分發元山へ
▲東河圭田正[?]（新任步兵廿四聯隊附）　廿四日夜 巴城舘の送別會に臨む

香南雪北

朝鮮には大分乞食が居るが殊に乞食の名所は全羅南道で去年の八月頃の調査によると先づ二千名居た▲無論全南產許りではなく他道から出稼と云ふのもある▲全南は乞食の爲めには大に暮しよいので斯う集まる譯だ▲さらば乞食が暮しよいと云へばお貰ひが多いからだ▲お貰ひが多いと云へば全南は比較的富有であると云ふ事になる▲處が全南では餘り有難からぬ事だから片つ端から乞食狩りを始めた結果目下の處では三百名位迄狩り盡した▲殊に順天などでは乞食收容所と云ふものを設け乞食を此處に引つ張り込んで繩叺の製造をやらせる▲現に十名許りは同所で乞食の足を洗つて仕事をして居る者もある▲滑稽な事は初め深山な先生達を引ツ張り込んだ處が▲三日すれば止められぬ連中だから一夜の內に逃げて仕舞つたので一時は困つた相な▲兎に角社會政策としては先づ上乘の出來である▲新設龍山師團へ第一着に來る軍隊は鹿兒島兵で都城第一中隊長渡中隊長以下百五十名▲其れから會寧へは鹿兒島から第五中隊の上田中隊長以下百五十名何れも來月の廿二日頃渡鮮する相な▲慶南昌原郡の鎭東から二里許り行つた處の川にある砂は何だか錢つて居るので▲某邦人が或は砂金もかなと時節柄持ち歸つて分析させた處が多量のラヂユームを含んで▲砂金も小々ある事が分つたので又一と噂立つて居るとは何處も上つ調子で困る

▲廣告▼

生徒募集

本年四月入學セシムヘキ本科第一學年及同第三學年生徒若干名募集ス

大正五年二月五日　京城公立高等女學校

入學志願者心得要項

一、本科第一學年ニ入學セシムヘキモノハ本年四月一日ニ於テ年齡滿拾貳歲以上ニ達シ尋常小學校ヲ卒業シタルモノ又ハ本年三月末卒業スヘキモノタルヲ要ス

二、右入學志願者數募集人員ニ超過スルトキハ選拔試驗ヲ行フ其學科目及程度左ノ如シ
國語、算術、日本歷史及地理、理科、裁縫

三、第三學年ニ入學セシムヘキモノハ相當年齡ニ達シタルモノニシテ本校第二學年修了程度ノ學科目ニヨリ試驗ヲ行ヒ之レニ合格シタルモノトス
修身、國語、算術、日本歷史、地理（日本、亞細亞、歐羅巴）理科（動物、植物、鑛物、生理衞生）裁縫

四、入學志願者ハ左ノ書類ヲ來ル三月二日マテニ本校ニ到著スル樣差出スヘシ
入學願書、履歷書（以上本校學資ニ依リ認ムヘシ）
戶籍騰本（大正五年一月以後ニ調製セルモノニ限ル）
學業證明書（小學校在學者ハ本學年度第一、二學期、其他ハ最近ノ學業成績。及本年三月末ニ卒業見込ニツキ當該學校長ノ證明セルモノ）

五、選拔試驗ハ第三學年入學志願者ハ來ル三月八九日ニ同十一、十二日ニ行ヒ志願者ハ右記物品ヲ携帶シ前者ハ八日後者ハ十一日午前九時マテニ本校ニ出頭シ係員ノ指揮ヲ俟ツヘシ

六、三月十一日第一學年選拔試驗日割左ノ如シ
三月十一日　國語、日本歷史及地理、理科
三月十二日　算術、裁縫、身體檢查
上草履、半紙、筆、墨、硯、鉛筆、小刀、辨當

注意　トラホーム患者其他傳染性疾患アル者ハ入學ヲ許可セサルコトアルヘシ

毛皮なめし
御用命仰付被下度候
京城本町二丁目
日東商會
電話二二〇番

新刊書御案內

書名	著者	定價
私法論文集	松本烝治	二、三〇
納稅施設例纂	東京稅務監督局	一、五〇
貨幣論	青木得三	一、五〇
水力發電所の設計	中村、朝倉	一、〇〇
新式飛行機の原理及模型製作法	井関十二郎	一、二〇
小學校に於ける物理敎材研究並に實驗法	松田、桁井	一、五〇
國語敎授及實際	國語研究會	五五
新撰獨逸自修文典	納谷貞祥	六〇
受驗必携數學講義	原涌吉	二、五〇
歷史地理試驗問題解答	中村紫	六五
强肺健胃法	遠山椿吉	一、二〇
スキー術	山口、金井	六五
はやり唄と小唄	藤澤衛彥	八〇
石の死活と共活用	鈴木爲次郎	一、二〇
かわかね	篠原	八五
稻田一作	浪六	一、一〇
新譯アラビアンナイト 下卷	谷	三、〇〇
挿繪獨逸艦エムデンの奮戰	宮家庸男	七五
榮西禪師	木宮泰彥	一、〇〇
蘇峰文選	德富猪一郎	三、五〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六番　振替京城二五七三

●黃一歐上海に入る
外國租界內に潛む=探偵の活動

在上海政府側探偵等の探る所に據れば革命黨領袖黃興の一子黃一歐は最近東京より長崎を經て來滬し隨行の某々等數名と共に現に某租界內に秘密結社民義社なるものを組織し專ら同志の糾合軍資借入れに盡力しつゝあり既に支那豪商某は軍資の提供を申込みたりと目下探偵等の活動は其極度に達せる模樣なり(上海)

●彈丸二千函沈沒
南軍の輸送船巫峽に坐礁す

張七師長より北京政府に致したる電報に由れば張敬堯の率ゆる第七師團所屬の輸送船七隻が彈丸三千餘箱を載せて巫峽を遡る際其內四隻坐礁して二千餘箱沈沒せりと張師長より直ちに其補充を申請せしが未だ中央よりの發送を受けず(上海)

●棺桶の中に武器
軍裝支那人四名の拘引=馬賊か

二十三日吉林西關頭道碼頭の下を軍服を著せる四人の者が一個の棺材を橇に乘せて通過せんとするより一巡警之を認めて不審を抱き棺材を取調べたるに驚くべし棺桶の中には數多の武器と阿片とを容れありたれば巡警は直に警察廳に電話を以て報告し警察廳の指揮を仰ぎ四人の軍服を著せる支那人を拘引したるが右四名とも多分馬賊なるべしと(吉林)

●哈爾賓機器廠燒く
露支消防の盡力=損害約五萬留

哈爾賓市傅家甸頭道街株式會社振興機器廠は十六日夜七時頃失火し折柄の北風に煽られ炎々として燃え擴がりたれば宵の口の事とて露支兩國の消防隊殆ど全部馳せ付け死力を盡して消防に從事したる結果十時頃鎭火したるが損害約五萬留にして原因は小使室の蠟燭が倒れたるためなりと(哈爾賓特信)

●神宮用材
輸送鐵道敷設

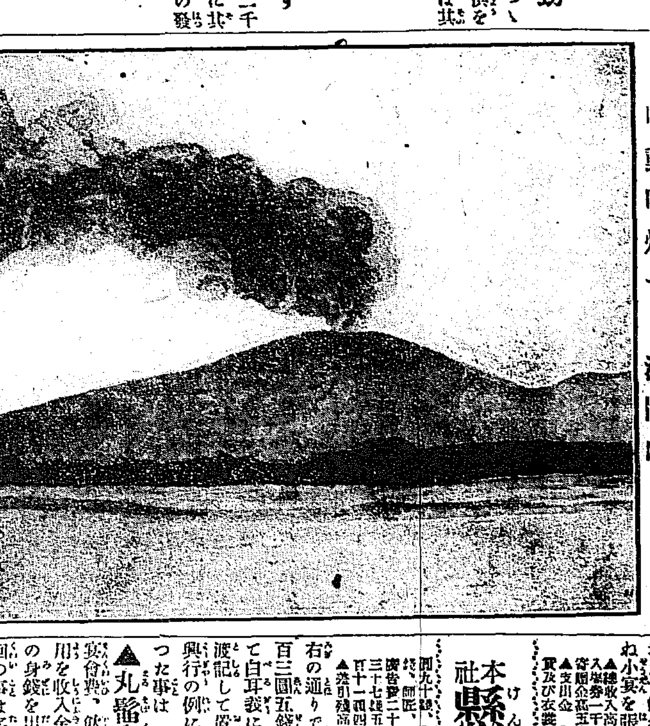
明治神宮御造營に要する御用材輸送の爲東京原宿驛より代々木の御造營敷地に至る特設鐵道引込線は既に竣工せるを以て豫て深川木場に貯藏しつゝありし御用材は來る三月上旬より輸送開始の運びに至るべし(東京)

●大嘗宮拜觀者
奧に參入

大典式場の大嘗宮拜觀は二十一日より南神門內深く參入を差許されたるが親しく拜觀する處に依れば從來は南神門前庭燎舍前限り參入を許可せられざりしが今回は此の拜觀路を鑿ぎ新に西脇門前に進路を開き同御門を入り御門內左側小忌幄舍右側國栖の國風奏樂所より前面は全く御廊下の外側まで參入し得ることゝて御廊下越しに帳殿、其左りの奧の主基殿を拜し其れより御廊下の外側を順次東に進み左に殿外小忌の幄舍、遙に其後方の奧まりたる廻立殿、右は南神門を拜しそれより少く歩を進めば左に悠紀殿前の帳殿、悠紀殿を拜し最後に右に國栖の國風の奏樂舍左に小忌幄舍を拜して西脇門より一直線に退下することゝなりたり從來は前記の如く一般拜觀者は南神門前より特別の拜觀者と雖も御廊下外までは參入し得ざるを以て宮內の結構を拜する能はざりしが今回以上の如く改められたるより拜觀者は非常に喜び居れりと(大阪支局)

●龜裂崩壞
淺間山鳴動詳報

長野縣にては廿二日午後六時十一分俄然全縣下に亙り强震を感じ同四時に淺間山は一大爆音と共に焰煙灰に冲し近來稀なる壯觀を呈したり地震の最も激烈なりしは小諸、輕井澤、岩村田、上田等にして市中の戶障子は概ね倒れ壁石垣の龜裂崩壞せるもの極めて多し其後八時十分頃までに大小の地震斷續して如何なる地變を現出せんも圖られず人心恟々として戶外に避難するもの少からず震源地は淺間山系にあるは勿論なり右各地の外長野、須坂、中野等も可なりの激震にして時計は概ね止まりたり又松本地方にありては七時十分頃より八時四十分までに前後七回の地震あり內四回は强震なりき淺間山麓に位する各村落には降灰あり田畑の損害亦少からざる模樣なり(東京)


鳴動噴煙せる淺間山

●『兄上樣、どうか許し下さいませ……』
紫縮緬の羽織で漢江に、美人覺悟の投身

京畿道始興郡管內にて龍山より程近き漢江の鐵橋を距る下流十五間許りの水中淺瀨に本月七日頃年齡二十三四位の賤しからぬ風采の內地婦人の死體浮び居るを發見したるものあり急報に依り所轄永登浦警察署より警官出張檢視せしが身には更紗小紋裏襦袢は水色にて上部は

▲赤色モスの繻袢にモス形付の襟をつけ紫色形付きの縮緬羽織縱縞の銘仙袷に繻子の腹合帶を締め赤色モスの腰卷にて白足袋を穿ち駒表附の下駄を穿き居れり而して兩の袂には手拳大の小石を十個許り宛入れ居り腰卷の上より縮紐にて大腿部を堅く締め居り更に外傷なきより全く覺悟の自殺者と判明せしが偖所持品としては

▲財布の中に一錢銅貨二個五厘銅貨一個あり別に遺書一通ありたるが其原文左の如し

遺書。何卒兄上樣御許し下さいませ。死んで行く私の罪に兄上樣は嘸御立腹なさるでせうけれど兄上樣が御在でにならぬのにどうしておめ／＼と生きて居られませう私皆くてたまりませんから死にます

右の如き現場の模樣にて更に住所氏名不明なるより屍體は一應新東面に引渡したるが其後數日を經て右の女は

▲女は龍山旭橋通 居住柴田某內緣の妻四宮ひで(二三)なること判明し屍體は柴田にて引取りたるが自殺を遂げたる原因に就ては勿論深き事情伏在せるものゝ如く一說に依れば姑との折合ひ惡しく常に風波絕えざりし其結果ならん歟尙自宅にも別に一通の遺書ありたりといふ

●一奮發をした丸髷會員
七百餘圓の寄附 伸代等一切手持

丸髷會の白井義同情慈善芝居は豫期以上の成功を收め得たが二十三日に其の收支決算を終り發企人なる出演者一同伸を聯ねて後援關係者を

▲歷訪謝意を表した上翌二十四日午後四時半から白水に關係者五十餘名を招待して決算報告を兼ね小宴を張つた、其報告は左の通り

▲總收入高 金一千四百十四圓五十錢 內譯 入場券一千三百五十九圓 寄贈品賣却金額 寄附金高五十五圓五十錢

▲支出金 劇場借賃七十五圓衣裳損料(但遲賃及び衣裳方二人の旅費宿料共)二百九十六圓九十錢、劇場所屬給料八十三圓九十三錢、師匠、太夫、囃方給料及び謝禮百六十四圓五十二錢、繪看板、印刷費二十一圓、豫告中附合中雜費六十八圓三十七錢五厘、通信費六圓二十四錢、合計七百十一圓四十四錢五厘

▲差引殘高(純益金)七百三圓五錢五厘

右の通りで諸經費を控除した殘り七百三圓五錢五厘は京城府尹の手を經て白耳義に贈る事になつた、茲に鳥渡記して置いてやりたいのは此種の興行の例に似ず諸經費の案外少なかつた事は

▲丸髷會の連中が 多く諸衣裳費、飲食費、伸代等の主なる費用を收入金に仰がず各自五六十圓宛の身錢を出し合つたのに因るので今回の事は多少彼等の道樂氣が手傳つたにしたところが空前の美擧と謂はねばならぬ、然して此の有意味なる印象が記念となつた丸髷會は永久に存して他日の活動の機關とする事になつた

本社 懸賞歌謠締切廿八日!!

●朝鮮一高記念祭

來る三月一日は東京第一高等學校寄宿寮記念祭に相當するを以て朝鮮一高會本部にては當日京城に於て記念祭を開催すべく目下準備中なり本部は京城大和町二ノ一三高橋方に在りと

●靑年會講演會

南大門通一丁目靑年會にては廿六日(土曜)午後七時半より講演會を開催し一般有志の來聽隨意なりと演題及び講演者は左記の如くにして布施知足氏は多年支那に滯在し熱心なる支那研究者たり又小宮次官は嘗て獨逸に兩度滯在したる事ある獨逸通なり

現今の支那 ゾールプレス記者 布施知足氏
獨逸の強大なる所以 李王職次官 小宮三保松氏

●仁川穀物檢査員檢擧さる

元仁川穀物檢査部檢査員永松久二郎は在職中の不正事件暴露し去る二月十日仁川警察署に拘引して取調中の處本月二十四日仁川支廳檢事局に送られたり事件の內容は豫審に屬するを以て詳報する事を得ず(仁川支局)

三 鍋には大豚
=嚴めしい式祭= 馬賊頭目修業

此の日の營、此の山寨では頭目奉戴式と云ふのが行はれた。門內第一の廣い庭には正面に芝付の切土を積み重ねて祭壇を設け、壇上には天地神明城隍神等の靈牌を奉安し、其の前の机の上には

太い線香が焚かれて居る。机の前の左右には鼎に擬して大鍋に豚が一匹宛入れて有る。其の少し下つて前には此の山寨に有り丈けの武器が並べられて居る。少くとも馬賊と草賊と異つて居る處は此の武器である精鋭の武器さへ有れば其の團體の結合力は强くなる。外に對しても威力が有る譯で有る、そこで平頂山上の大王が祭壇の前に並べた

武器はどんな物で 有つた乎。曰く赤錆びに成つた支那古刀が五振、手斧が七挺、元込めの小銃が八挺ある。此の八挺の小銃が山寨の權威である。其他に旗が二旒、あつて一方には淸道救民、一方は武當擠世と大書してある。旗の下の小机には小銃彈が三百發許りあつて皆な赤い紙が被せてある。柳老人は勿論朝から一切の采配を執つて式を司つて居る。調子の合はぬ騷々しい笛

太鼓と鉦が鳴らさ れる。之れが式の始まる合圖で有つて、道士の樣な袖の長い眞白の衣物を著た頭目淸道王は、反を打つた大刀を赤紐で脊中に高く脊負ひ上げ、胸の前へ拳銃をブラ下げた處は一寸滑稽ではあるが、兎に角本人は嚴めしい顏をして、壇の前へ進み出て香を焚いて參拜し三步後に下つて左の

鼎の中に有る棒で 鼎の中を搔き廻してそれを神壇に向つて三度振り、此度は右の方の鼎へ搔き廻はし今度は後の方に並んで居る部下の下に向つて三度振り、それから一通り武器を檢ためて見て其の前の椅子に腰を下すと副頭目になつた男が謹んで前に進み出で、頭目の脚下に三跪の拜を行ひて退くと今度は小隊長が二人進み出で、跪いて

銘旗を一本宛授け られて列に歸ると、同時に一同が跪づいて拜禮を行ひ、之れで式は濟んだのだ。それから武器は武器庫と云

ふ樣な處が有つて小頭目が其處へ藏つて鍵は頭目へ渡す鼎の中に入れて有つた豚は直ぐに調理されて夜の酒盛の肴に成るのだ。茲で一寸淸道大王鮑越と

大變に豪さうな名

のある大王とはどんな人であるかを探つて見る必要が有る。彼は元復州の生れで何んでも石屋か何にかの小僧に成つて本溪湖邊を流れ歩いて居たのだ。仕事嫌ひで、博奕が好きで酒は呑む、女は買ふと云ふので、親方から追放されて終つた。しかし彼は追放されて悲しいとも、困るとも思はなかつた。結局

氣儘自由に博奕を

打つて酒を呑んで遊んで通れると大悅びで有つた。處が未熟な彼は到底も玄人の仲間に這入つて、博奕を打つては飯を喰ふ事も出來なく爲つた。そこで彼は其頃募兵中で有つた鳳城の巡防隊へ志願して入營する事になつた。

◎子供の風邪を引いた時の手當
室內の暖め方=吸入と濕布と氷囊

子供が病氣の時に親はどう手當をすべきか先づ氣管支加答兒や感冒に罹つた時などに咳が出たならば第一に部屋を溫める、暖房器は日本室ならばいづれストーブか火鉢であるが炭酸瓦斯排出を計るために必ず

◆換氣法を 行はなければならない、呼吸が急しくなつて餘計に咳が出る樣になつたら一切表に出さないで室內を華氏六十度に溫める、日本の室は障子で全く寒氣を防ぐ事が出來ない場合も多いからさういふ時には蚊帳をかけて湯たんぽを用ゐ

◆吸入器は 乾燥した空氣を少し濕らせて呼吸させればよいのであるが、餘り近くで口を開けさせる方法は火傷の危險もあり息苦しい時には餘計に呼吸困難を增すものである、此他アルコールの危險も考へなければならない、藥はリスリン、重曹、或は硼酸を百倍乃至二百倍に薄くして用ひるとよい

◆次に濕布 だが普通の濕布はモンパを二枚縫ひ合せ次に油紙其上に又モンパ二枚の物を使つてまた濕布の藥に素人は酒や種々の藥を用ゐるが酒は香ひを嗅がせるもよくないし第一かぶれが出來る、そして夏は汗疹が出來る取代へる度に乾いたタオルでよく拭ひてテンカフンか亞鉛化澱粉かをつけるとよい、最近に來た藥でアンチフロゲスチンといふのがあるが之を熱湯の中に鑵ごと入れて溫まつた時濕布に一分位の厚さに塗つて用ふると二十四時間は保つ

◆氷枕氷囊と 胸など殆んど氷詰めにした程にする人があるが三四歲の子供の三十七度位の熱には氷は殆んど不必要である其よりも水がいい四十度位になつたら唯だ下熱の目的で頭にあてる位の外は氷は用ふるに及ばぬ

●郵便赤行囊强[illegible]

大膽なる曲者あり所轄仁川署にては犯人嚴探中の所此程遂に逮捕したり

●金[illegible]

[illegible]由にて目下檢事取調べ中なりと

[illegible]成

件に關しては既報せる所なるが其後順川分遣所は專ら[illegible]に盡力し

[illegible]生れの[illegible]支(四〇)は二月十九日午前七時頃[illegible]

南大門通四丁目坪內某其他二三氏の盛話斡旋[illegible]奬勵會を開催し渡邊暢丹羽清次郎[illegible]等ある筈なり

廿四日午後釜山入港對馬丸二等客[illegible]一時なし(二名)七名、水野保同ばな、森川[illegible]伊東太一郎、幾八十一、東原墨次郎(三等五十五名)

天[illegible] 北又は西の風晴れ ▲二月廿六日 [illegible]

演藝案內

◎少年『と』少女』の三月號 上品で而も最良の子供雜誌として定評ある東京時事新報社發行『少年』と『少女』は早くも昨裝せる三月號を發行せり時局に因んで武裝せる『少年』には長野中佐益田少佐馬場中尉の痛快なる實戰談爭繪話を始め探偵奇譚『六事件の突發』科學小說『三百年前の怪島の卵』冒險小說『夜なく唸る鬼伏山』野球小說『選手志願者』等再讀三讀の文字を滿載し『少女』は桃のお節句にふさはしき綺譚記事を以て滿され中にも高女入學試驗の案內記は時節柄必讀の文字にして記者苦心の四頁大極彩色の口繪は切放して厚紙に貼れば直ぐに美しいお雛樣の屛風が出來るといふ絕好の思ひ付也良家の家庭に愛讀を勸む

櫻井町 大正館 電話八七三番
二月二十五日より新寫眞提供 實寫 伊太利の實況 ◎喜劇マックスの勝利 米國バイタースコップ會社が撮影費八十萬圓を投じたる最近大傑作 ○大冒險大衝突 全三卷 長尺
▲危險!危險!數十輛の客車と二輛の機關車が粉破微塵に碎いたる一大悲慘事
▲新派大活劇 怪力美人 全三卷 藤澤淺二郎立花貞次郎關根達發大一派
▲絕世の美娘は夫子を捨てゝ去り深山の伏屋に就武をあげ[illegible]
○西洋人情劇 五 龍 全二卷
○舊劇紀州竹若丸の傳 全三卷九十七場

壽町 壽館 電話一〇五〇
[illegible]
二月廿六日(土曜日) 東樂燕入道一行
▲宮本武藏(東小樂)▲乃木將軍(桃中軒雲笑)▲尼子十勇士(吉川[illegible])▲神崎東下り(東小入道)▲櫻義民傳 血染の聯隊旗(長講二席樂燕入道)
三日間限り日延なし
入場料一等金七十錢二等金五十錢三等金三十錢 四等金五錢下足料金二錢

黃金町四丁目 黃金館 電話二六三七
大然色活動寫眞株式會社滿鮮一手代理店
二月二十二日より全部差替新映畫
▲實寫伊太利ポッシリーの風景 ○滑稽親爺の持ちつ持たれつ 寫眞美術紋十郎合同川頭 ▲片岡羽左衛門市川紋十郎合同川頭
◎舊劇 白菊金五郎 全三十七場
◎佛國エクレア會社選品 大活劇 揮國(戀と爆彈) 全三卷
[illegible]
◎市返り大飛行實況 大正五年一月二十三日於大阪城東練兵場米國大飛行家ナイルス氏
▲大井五味、木下トンボ會一行大車輪劇 最後眠
○新派悲劇 蝦夷錦 全三卷
[illegible]

明治町 浪花館 電話二六〇番
○京山若圓京山恭爲合同大一座
今晩の讀物
△由井ケ濱の仇討(京山爲春)△小栗判官(岡田八千代)△義烈百傑(吉田若春)△天正武藏(長講一席京山若圓)△村山大佐銃殺事件△紙幣贋造刑事小川瀧吉郎(長講二席京山恭爲)
每夜六時より必ず開演仕候間何卒御來館希上候

新龍山 佐久良座
三府合同歌舞伎大一座
廿六日(三日目)
▲鴨田川法界坊 法界坊 市川海老松 一かゝり火、一寸おかん 一[illegible]
▲入場料 一等廿五錢 二等十八錢 三等十錢

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版 亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に應じ候
京城日報社 寫眞製版部

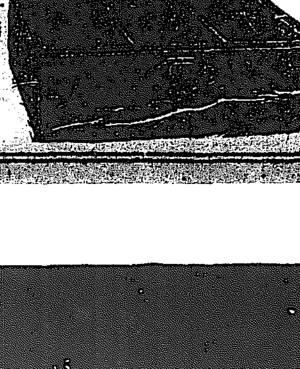
長崎產 赤馬鈴薯種子 大々的大販賣
甘藷元氣種 赤目里芋種 並に各種漬物製造卸 奈良漬
海陸物產委託問屋 仁川京町市場角 松永商店 電話九一二番

食料品雜貨大安賣
今般移轉に際し從來より一層薄利多賣主義にて大勉强可仕候間多少に不拘御用命御註文の程願上候
食料品 果物 靑物 海產物 卸小賣 問屋 京城吉野町壹丁目 岩城馨商店 電話八〇四番 振替一〇〇六番

西陣 厚板女丸帶 四圓貳拾錢 送料內地廿錢、朝鮮四十錢
西陣織 大販賣
世の中に安いものと化物はないとはよく云つたもの何故本品が斯の如く安いか抑も當店は製造元なる事は皆樣御承知の如く呉服類は製造元より仲買人へ仲買人は又之を卸賣人へ卸賣人は之を小賣人へ小賣人は之を御得意樣へ販賣するのであるから元價に比して其間の口錢を一々計算しますと元價の二倍以上になるのです此の口錢を省き直接皆樣へ販賣するのでありますから製造元の要なしで凡て當店は此度是非專數種商人の手を經ずして直接皆樣へ販賣するのです此の口錢を省きまして御用意したる次第に付何卒御買求め下さい
京都市七條通千本西入南側 西陣織物製造元 都織物商會

雛櫻印 白酒 發賣 仁川花町二丁目 上城酒造場 電話七五八番 振替京城八八二番

廣島名產 山まゆ織 新柄品揃御一報次第柄見本進呈す 廣島市大手町一丁目 高橋光時商店 振替大阪二〇六九

輕便! 堅牢! 優美! 廉價!
何れの點に於ても卓越せる
—竹內製手提金庫—

京城本町二丁目 朝鮮特約店 熊平支店 電話六二四番 振替京城二二二番

…を捻ぢ切りて侵入し玄米五斗入三十…忠南禮山郡と洪城郡との間にて郵便を破り現金四千…以(百七十圓)を窃取して逃走したる一公金五百餘圓を强奪したる旨自白し…を…つけて逃走せし二人組の强盗事

◎支那人の小泥棒 支那奉天新民屯…行を自白したり…

…午後二時より南大門通…於ては特に青年の爲め新…

…木口つる、岡崎之助、吉田秀次郎、吉田きわ、木村篤夫(三等賞五十六名)

大邱市民の歡喜（一）

師團增設と市勢の發展

▽一波起萬波應

一波起つて萬波應ず大正四年六月一日、陸軍多年の宿望內閣歷代の難關であつた朝鮮二個師團設置案が議院を通過したと云ふ飛電は閃として朝鮮の津々浦々迄傳達せられた、と同時に經常費五百萬圓七箇年繼續で

■臨時費千三百萬圓と云ふ大金が朝鮮に落ちると云ふので歐洲戰爭と內地商況不振の影響を受けて鮮から寸不景氣呼ばはりをされてゐた朝鮮十三道に一道の光が來た樣な思ひがされた。號外、祝賀會、提灯行列と各地一樣の歡呼は盡くる無き未來を稱へあつた。其內でも

■常設兵營の選定と云ふ其聽的問題の設備が一般に論議される樣に成り出すと此處こそはと其選に預るべく奔走の都市も鮮くなかつたが雪上霜を加ふるの喩、國防の事は既に八年前から愼重審議考究を盡した結果だとあつて其所在地は本年十二月廿四日の官報によつて發表せられた無論其以前から

■何彼こ取沙汰はせられてゐたもの丶茲に於て初めて確定した譯である乃ち

第十九師團司令部	羅南
第卅七旅團司令部	羅南
第七十三聯隊本部	羅南
第七十四聯隊本部	咸興
第卅八旅團司令部	會寧
第七十五聯隊本部	會寧
第七十六聯隊本部	羅南
第二十師團司令部	龍山
第卅九旅團司令部	平壤
第七十七聯隊本部	平壤
第七十八聯隊本部	龍山
第四十旅團司令部	龍山
第七十九聯隊本部	龍山
第八十聯隊本部	大邱
第一第二大隊	大邱
第三大隊	大田

（其他に特科隊）

北は會寧、羅南の端れから南は大田大邱迄更に改めて其都市の前途を祝福し

■居住民の福利を慶賀した加之既に其擧を聞いた丈けでも一齊に人氣立つて地價は騰る商人は入込む臨時たる春風は已に其都市のみを訪れた傾向がある。

▽春風一時到來

龍山、第二十師團司令部所在地たる龍山の景況は既に記した。第十九師團司令部所在地羅南の狀報も聽て報道せられやう。其間に記者は兵營設置の聲に陶醉した大邱の前景氣を一瞥する事にする。大邱には現に臨時朝鮮

■派遣隊司令部が有り步兵第二聯隊本部が駐在してゐる。夫れが聯隊本部の所在地たり二箇大隊常設の事と決せられた譯であるから稍や以前より減少した傾きが無いでもない、併し乍ら大邱の居住民は最初旅團本部設置を希望してたのである夫れが一部を容れられた譯で若し夫れ現在から無一物になつてしまふに比すれば頭至地して感謝しなければならぬ

■大邱市民が將に狂せん迄に輝やいた行手を望んでゐるのは無理ならぬ事である。多望なる大邱の將來、それは啻に兵營設置の聲のみに止まらず朝鮮輕便鐵道會社の設立確定あり水道債の有利なる借入と其工事進捗とがあり四月からは新設せられた女學校も新設校舍に授業を開始しようとしてゐる。盆と正月が一度に來たと云ふ喩があるがそれは正に大邱の現在及び將來に就て言ふべきであらう。

●阿片二貫目餘 ▲間島より密輸入

北茂山郡西海面梨峯承(三三)同面宋奎(三七)の兩名は昨年十月二十日頃…は八十圓…は百五十圓を携へ支那間島に至り同名にて阿片二貫三百五十匁を買入れ…を携へて京城に來り太平町二丁目の某に依賴して密賣せんとせる際を鍾路署に於て探知し犯人贓物何れも檢擧されたり

●醫生阿片密賣 買つたのは妓生

大邱上西町居住慶北漆谷郡玉山面生れ醫生許相絅(三三)は大邱大和町佐伯藥店より鹽酸モルヒネを買入れこれを昨年十二月十四日朝大邱南山町鄭東源に一瓶一圓八十五錢にて密賣し同月二十九日晝頃には同藥一瓶を一圓六十五錢にて慶山郡慈仁面東部洞妓生鳳仙に密賣したる事發覺し目下大邱警察署にて取調中なるがなほ此の他にも密賣し居るもの丶如く引き續き捜査中なり（大邱）

●新聞購讀禁止

段奉天上將軍は上海時事新報民國日報中華新報等は何れも中華帝國の正朔を奉せず革命を謳歌し民亂を皷吹する新聞なるにより爾今購讀を禁止す犯すものは嚴罰に處すべしと告示したり（奉天）

●西の海初土俵 名古屋興行にて

名古屋に於ける東京大相撲は二十二日初日を開場したるが非常の人氣にて見物人は前夜來詰め掛け客止の盛況を呈せり西の海は京都興行より橫綱の初土俵入りを爲す筈なりしも同地興行大阪の後となりしため俄かに名古屋にて行ふことゝなり早朝熱田神宮に參拜の上國技館にて幕の內方士の土俵入りの後源氏山の露拂ひを先きに九州山の太刀持ちを隨へ威風堂々其巨軀を現はし拍手喝采裡に悠々土俵に上り不知火の式に依りて方屋入りを擧行したり（大阪）

ビスケット、パンや千菓子は木村屋の品に限ると人は云ふなり（京城明治町、電話一八七〇番）

●鳳翼洞の自殺未遂 京城

鳳翼洞勞働朴春景(四三)は二十四日午後九時半頃自宅便所の前にて小刀を以て前頭部を搔き切り三箇所に負傷して苦悶し居るを家人が發見、急報に依り鍾路署より警官醫師出張檢視したるに生活難の爲め精神に異狀を來して自殺を企てたるものと判明したるが生命には別條なかるべし

●消防組へ慰勞金 高陽郡

龍江面阿峴里住民は阿峴消防組員一同に對し昨年中一箇年間に於ける勸勞を慰する爲め同里車俊淵外廿一名の篤志者より金百圓を醵出し陰曆正月を機とし之を贈與したき旨所轄[illegible]警察署に願出でたるにより同署にては其の美擧を賞し本月二十一日午後一時より同消防組員全部を同署に召集し服裝及び器具の點檢を行ひ次いで假設出火消防演習をなし右寄贈に係る金員の目錄を交附したりと

各宮妃殿下及宮內省御內儀御用之光榮を拜せり
●九條公爵家始其他華族貴顯方御愛用の榮を蒙れり
各博覽會にて金銀牌受領
●注意 二婦人共頭上稱なきは僞物
定價 廿錢、卅錢、六十錢、一圓
髮を黑く長くつやを出し さらくとして髮のぬけを防ぎ髮あかつかざる事妙なり

△鮑のフライ 中位なの鮑を求め貝を去りワタやエンガハも除つて肉を三四分位にへぎ能く蒸してからメリケン粉、卵黄、パン粉の順序につけラードで揚げる附合せはレモンか柚子パセリが宜し

△鰹の玉子燒 鰹一尾を蒸鍋しにし別に鷄卵一個を味醂、砂糖、醬油で溶き混ぜ鰹の平に入れて燒く

△梨の白和へ 梨一個、豆腐半丁、砂糖小匙一杯、鹽極少量の材料で先づ豆腐を布巾で絞り擂鉢に入れよく摺つて砂糖、鹽を加へ更に擂り混ぜ置き、梨は皮をむき適宜の大きさに刻み右の豆腐に和へる、セールの類などに依りし

商況

東京株式特電

郵船 東京 東株 高い

債券現物特電

廿五日出來値段(前日との比較)

東洋拓殖	一五四、五〇
朝鮮銀行	
日韓瓦斯	
朝鮮殖銀	
南滿鐵道	一四五、〇〇

公債直取引 東京特電

廿五日出來値段(前日との比較)

五分利	八三、〇〇
四分利	
甲五分	九五、〇〇

深川在米特電

二十五日現在高

朝鮮米	一五九、三八九
內地米	一〇七、一四八
外國米	二一七三、五二七

東京期米特電

廿五日前場	前場	後場
二月限	一三、五〇	
	一三、五七	
	一三、五〇	
	一三、五七	

大阪株式特電

主力株及び紡績高い

高安寄付 付合め 議論

銘柄	前場	後場
大阪株式		
東京新株		
八阪米穀		
日本郵船		
大阪商船		
東洋紡績		
阿上新株		
鐘淵紡績		
和泉紡績		
京阪電鐵		
神戶電鐵		
宇治川水電		

大阪三品特電

二十四日前場

一月限	一二七、三〇	一二七、四〇
二月限	一二七、八〇	一二七、八〇
三月限	一二八、一〇	一二八、一〇
四月限	一二八、〇〇	一二八、九〇
五月限	一二八、八〇	一二九、二〇
六月限	一三〇、〇〇	一三〇、一〇

大阪期米特電

廿五日前場

當限	一二、八五
中限	一三、六八
先限	一三、八九

雜報

●製粉愈々不振

…に於ける輸出も例の現況品の一部に限られ且つ錦麗も頗る搏底の際さて昨今は頗る發約…にて買氣益々沮喪し居るが如し…

●洋鐵界益々混沌

…

落に更に五圓方の崩 十錢に相當九圓五六

…

下關相場

△朝鮮一等白米當限	十三圓六十錢
△同	十三圓七十錢
△同二等白米當限	十三圓二十錢
△同	十三圓三十錢
△優館大豆	九圓五十五錢
△同	九圓六十錢
△フリツボ大豆	九圓七十五錢
△同	九圓九十五錢
△元山大豆	
△同	
△深川大豆	九圓七十錢

各地商況

○釜山(二十四日の穀物) △正米(保合)各產地米主圓は昨今の安値にては依然賣り惜み…

利喰賣ミ後の輸入期待

在荷買占の前提に織賣叩

自然積出し不能

洛相場全く人爲的の下落

◎銅眞鍮類昂騰の値上に至れり

◎粉米こ新販路 方面の販路を得たる最近更に新

次に新販路を增加す 逐に優良

◎群山在米激減

△大豆 ◎木浦(二十三日の穀物) △米況

利 仲買店 仁川米豆取引所仲買人

京城正米

南大門の廻米

京城雜穀

仁川現物市場

仁川期米

▲二十五日前場 一錢高の入電

大阪三節九十五錢と高移り

仁川米豆取引所仲買人 海岸町 三巴仲買店

市場零聞

▲前場動かず 自然伸び惱み

▲狀態の前場の手振

▲依然伸び惱み

向ふ氣勢反し硬派 軟派の賣 見送り居る

原料買焦りに稍好況を報じ關稅復舊氣構へ

▲中限落付て 中限存外落付模樣

▲策戰的變動を繰返す ▲今の買退き

▲目先當小相場 正米界稍活況 維持

仁川米豆取引所

廿五日の四月限

寄付	十一圓七十三錢
高値	十一圓七十五錢
安値	十一圓七十三錢
引値	十一圓七十五錢
出來高	一萬五百石

北濱だより

▲鬼怒川水電株

品質卓絶中味豊富

優等 清酒
攝津灘魚崎 釀造元 大塚釀造所
各地到所信用ある食料品店に販賣せり金露印と御指定御買上被下度候
京城南大門通三丁目 發賣元 大塚京城支店 電話四〇一番 振替口座五七〇番

龍山兵營附近
畑地二千三百坪賣物
土地高燥にして肥沃
希望者は南大門通丁子屋へ申込を乞ふ

見よ
白米常食者の一大福音
便秘、脚氣、白米中毒其他種々身體違和擊退
滋 養
記憶力、其他精力增進
母乳代用産前後補血
玄米乳
（朝夕配達）（一合金二錢）
東京北里研究所指定
京城北米倉町 玄米製乳舍 電話一五四七番

クリヤウカンデー
本月より二十九日まで栗羊羹 特價金十二錢
京城本町二丁目 龜屋商店

値上廣告
古酒在品甚だしく拂底こ相成り且歐洲戰亂の影響に依り諸般荷拵及瓶詰材料大暴騰の爲三月一日より※澤之鶴、日光、𧏛印一挺に付金壹圓五拾錢同瓶詰各種一函に付金壹圓方値上可仕候間御賢承の上一層の御引立賜度奉懇願候
※澤之鶴 日光 𧏛印
攝津灘新在家 釀造元 石崎合資會社

內外各種ブラシ製造原毛販賣
龍山漢江通八番地 岩宮商會 電話二一四番

東洋興農園 長崎市坂本町

模範 純粹培養 牛乳 ヨーグルト
獸醫 肥塚正太
京城蓮池町四 東亞牧場

瀨戶皮膚科外科醫院
旭町二丁目（舊三丁目）
醫學士 瀨戶潔
診察夜九時まで
（電話二四九八番）

小松勝儀病氣の處十九日死去仕候間生前知遇を受けし各位に謹告す
追て葬儀は二十五日郷里長野縣東筑摩郡片丘村自宅に於て執行可仕候
妻 光江
弟 本樹

母マス儀豫而病氣の處藥石無効廿四日死去致候此段謹告候也
追而明廿六日午後四時自宅出棺水標橋の北川端より二丁程東妙心寺に於て葬式相營申候
大正五年二月廿五日
鍾路二丁目洋服商 濱吉太郎
永島達重
親戚 日田嘉吉
總代 小寺藤之助
友人一同

電話一五六七番 旭町二丁目（京城府廳横）
株式會社 京城葬儀社 二月開業
靈柩馬車の設備有之候
中河原重吉 井上芳太郎
電話九五七番

葬具一式
造花、生花、花環、寄贈品裝飾品其他供物一切
親切丁寧は本社の主旨に候間御用命奉希上候
京城永樂町二丁目 大葬社 電話一〇五六番

越後大評定

第百四十一席 早川貞水口演

噂に知る美作の舊惡

瀧口三郎兵衛の金五郎は草鞋を解いて足を濯ぎ上へ昇り、六兵衛の手紙を出し、其から江戸の話を何彼と致します内、染井では誰、巣鴨では誰、入谷では誰と、懐かしいから喜平次は昔の朋友の噂をする、差支のない様に、流石水戸の家來瀧口三郎兵衛面も斯う云へば斯う、彼あ云へば彼あと、答の出來るやうに、六兵衛から聞いて來て居るから、話の應答には差支は御坐いません、彼是日の十日ばかり、何事もしないで喜平治方に厄介になつて居ると、恰度十一月の事、喜『金や』金『へエ』喜『今日は御城中へ大勢職人が往つて居るから、己と一緒に往かねえか』金『親方御供しませう』と其れから二人は支度して高田の御城中御殿廻りの御庭先の仕事へ往かんと、大手へ掛つた時に喜『金五郎さん』金『ハイ』喜『此左の方に皿地になつて居る好い地面な』金『へイ』喜『是は御當家の御家來荻田主馬樣の御屋敷だ、高は一萬五千石忠義の家來だが、冤の罪で毛利家へ御預けになつて逝去つたと云ふ話を聞いた、實に御氣の毒千萬な事だそれに引換へ小栗美作の繁昌と云ふものは、大した勢ひだ』金『ハアー』喜『家老の永見樣の屋敷はあの花畑になつて居る所だ、どうも菊が大層あるんだ、來年は菊はマア一切お前に頼まうと思ふ、菊は全體團子坂に限るんだから』金『へイ何事も出來ませぬが』喜『それについてな、小栗と云ふ家老が、若殿樣を殺して、其次の若殿樣を、吉原の御女郎買ひに勸め込んで到頭押込隱居、自分の倅大六を御世嗣に立て上を欺き、忠臣を苦しめると云ふ大惡人、惡盛なる時は天にも勝つと云ふが成程斯うなつて見ると、天道樣は有るか無いか解らぬなア』と植木屋喜平治は、一番惡い人にベラ〳〵喋舌てしまつた、此方は隱密だから、只フーン〳〵と聞いては居るが、腹の中では、小栗の惡事、荻田の忠義は、大概覺る事が出來た、其より御城中へ參り、ヅート見廻はつて其日は歸りましたが翌日から喜平治と一緒に、御用地へ毎日往つては職人の手傳を致して居ります、越後で仕立つた職人と違ひ江戸で仕上げた金五郎、立廻りが綺麗でございます、何うしても腹國の植木屋は總て叮嚀に仕上げるさうで金五郎頻に職人の中へ交つて働いて居る、如何にも其の仕事が叮嚀でございますから、喜平治も大に喜び流石丑右衛門の息子だと云つて水戸家の隱密瀧口三郎兵衛とは神ならぬ身の知る由もなく、金五郎、金五郎と云つて可愛いがつて使つて居る、或る日小栗美作縁側へ出て植木職人の仕事をして居るのを見て居りました美『喜平治』喜『へエ』美『今日は御苦勞だな』喜『へエ』美『大層庭がよくなつた、當年は松が去年から見ると餘程良くなつた』喜『左樣で御坐います』大層威勢が出て參りました 美『二三日後から見馴れない職人が來て居る彼人は江戸の者のやうだが他國の者だへ』と云ふのは小栗は自分の身に惡事があるから萬一城中へ江戸表から隱密が探索に入込やしないかと始終氣をつけて居りまして、少しでも樣子の變つた者が目につくと、小栗自身に調べるので御坐います。

電話開通 一八五七番
朝鮮煙草株式會社 京城販賣所 京城長谷川町
新製品口附三十二本入五錢
須磨 明石 景品附大賣出し

お聞きなさい

▲入院して十六年 大學病院入澤内科の二十七號室に十六年間入院して居る佐藤某と言ふ二十八の青年が居る、學用患者であるが、入院したのは十三の時で一度も退院しない、脊髓病の一種でフリードライヒ病と言ふ珍らしい患者、さうして此患者の役目は一年に一回學生の前に起つだけであるさうな

▲清子は大連の新聞記者●●●●● 此の程別府問題で大分酷しく言はれた岩野清子は大連の遼東新報に月給七十圓で政治經濟の記者として傭はれる交渉が纏つたとか纏らぬとか

▲電球になる紙幣●●●● 米國南北戰爭の時南軍の發行した紙幣は今では澤山あるが此古手で目下熾んに白熱燈電球のカーボンを製造されて居る、此紙幣から作るカーボンは非常に良いが、之は紙幣に使つて居る紙の原料が海藻であるからだと言ふ事だ

二月廿七日九星
舊正月廿四日甲午
本命一白北定赤口

[illegible]

懸賞金壹百餘圓 美味で滋養本位の ホーカースヰート 詠込の都々逸募集

美味で肥る滋養料 ホーカースヰート は時代の要求に應じ製藥部主任技師の嚴重なる監督の下に麥、朝鮮人蔘の滋養成分に幾多新發見の最新家料を應用精製した最良と味庭滋養料で品質の優良は勿論、滋養分の豊富は頗る上等で御座います、常にお用ゐ遊ばせば咽喉を整へ胃腸を調和し音聲を美しくし心氣爽快に元氣忽ちに快復し、小兒の身體の發育を補け且つ強壯ならしむる等の効能が御座います

定價 大十四錢 小七錢 送料四錢

懸賞規定

美味滋養の ホーカースヰート 並にその効能を詠み込んだ都々逸を賞を懸け、次の規定で遍く募集致します

(一)應募都々逸はすべてホーカースヰート並にその効能を詠み込んだものでなくてはなりません
(二)用紙はハガキに一枚に一句を限り認める事
(三)この新聞名
(四)宛名は東京神田和泉橋堀越嘉太郎商店廣告部
(五)締切は大正五年三月末日限り
(六)選者は堀越商店廣告部
(七)發表は三月下旬以後の各新聞紙上
(八)賞品は左の通り、發表と同時に送附致します。

一等 卅圓 三越切手 二人
二等 拾圓 同 二人
三等 五圓 同 五人
四等 一圓 同 卅人
秀逸 ホーカー液 百人
佳作 ホーカースヰート 百人

ホーカースヰート本舖 堀越嘉太郎商店 東京神田和泉橋

どもり
今茲紀元の佳節に當り内務省より御大禮賑恤恩賜金下附第七回助成金及東京府より吃音矯正事業を表彰せられたり
本社 東京小石川區第六天町五二 樂石社

正月の胃

雜煮餅の喰ひ過、屠蘇の二日醉、燈へず胃を惡くして、胸やけ、げつぷ胸痛抔と、正月早々から縁起でも無い、まして一年の計は元日にありと言ふて、元日には一年中の事を考へて何事も善き方に進まねばならぬ等な人間の身體の中でも第一必要なる胃を惡くしてはならぬ、コンナ時には差向き信用のある、五大軍醫の合議製劑胃活を、直ぐ召し上れ、グット胸が空ひて、氣が清々する。

定價 (胃活)壹圓六拾五錢、四拾五錢 (胃活錠)貳圓、壹圓、五拾錢、卅錢
請賣 全國及海外賣藥店の各藥店にあり
本舖 東京日本橋本銀町 山田安民 大阪府久寶寺町二 山田安民藥房

ミスリン
此外道樂四十餘種各地藥店にあり
定價 十錢廿錢五十錢一圓
清胃腸藥

進歩せる國民には進歩せる藥劑を要す是が理想的なるは大學目藥也

美人
密謡〇〇〇内容多云〇〇が花切手十五錢送れ直送す
堺市大道錦之町 福助堂

りん病
多年の慢性にも効驗著しき良藥あり只一劑を試よ同病者は切手三錢送れ其の良藥と自宅療法の詳細を報ず
消渇も自宅で秘密に治療し
◎名古屋市南かじや町 武藤龜吉

謹告

花王石鹸

原料騰貴の爲め
壹個に付 金壹錢 値上仕候

大正五年二月十七日
花王石鹸製造元 東京馬喰町 長瀨商會

仁丹

食後に仁丹飲めば胃腸強健、誰樣も缺さず召上れ

(四季容器寫實圖)

金言
飲食を節せよ然らば汝は健康なるべし
(フランクリン)

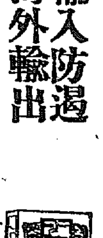
國産奬勵 輸入防遏 海外輸出

森永 ミルクキャラメル
ポケット入 大金十錢 小金五錢

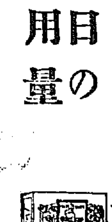
當社製品が日本全土に六千萬乃至印度南洋支那各地に九億この顧客を有するに至りしは盡し國産發展の慶事なり
當社は使用原料を精撰して社會衛生の向上を計り所謂「安心して食べられる菓子」の製造を以て其主眼とす
……原料の一部たる牛乳使用量は大に吾國畜産業の發展を促進せしむ……

煙草代用

牛乳百石 毎日の使用量



當會社特設の化學試驗部に於ては
藥學博士 丹波敬三氏
藥學博士 岡田春吉氏
兩顧問の選定せられたる專任技師數名を顧問指導の下に日日使用する原料を檢定し品質の統一を期す



東京 森永製菓株式會社 大阪

滿蒙處分論
露國クロパトキン將軍原著 日本大井包高譯
定價金一圓 郵税不社負擔
京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇

金泉醴泉間自動車發著時間表

上り	一番	二番
醴泉發	前八、三〇	…
龍宮發	九、一五	…
咸昌著	一〇、一〇	…
尚州發	一一、一〇	…
金泉著	後一、五〇	…

下り	一番	二番
金泉發	前八、〇〇	後三、〇〇
尚州著	九、五〇	四、五〇
咸昌發	…	五、〇〇
龍宮發	…	六、〇〇
醴泉著	…	七、四五

▲金泉 織居自動車支部 (架設中) 金泉電話四八番
當分右の通り運轉す

日本郵船仁川出帆

○大連、大沽、牛莊行
三河丸 三月廿一日 正午出帆
相模丸 三月三日 正午出帆
高砂丸 三月十二日 正午出帆

仁川海岸町一丁目 電話十一番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航所屬船(沿岸航路を除く)間連絡切符發賣の時は五分引を以て連絡切符發賣仕候

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
宮島丸 二月廿六日 午後五時出帆
×吉辰丸 三月五日
×天智丸 二月廿八日

○木浦、釜山、長崎行(▲は巖原寄港)
×安東丸 三月九日 午後二時出帆
▲城津丸 三月三日

○鎭南浦、大連行
安東丸 三月五日 午後二時出帆
城津丸 二月廿八日
チョイサン丸 二月廿八日

○×大連直行
瓊州丸 三月五日 正午出帆

○群山、釜山、横濱行
△潮州丸 三月二日 午後四時出帆
△福州丸 三月十二日

○淸津、浦潮行(元山出帆)
須磨丸 三月六日 午後二時出帆
▲蛋北丸 二月廿八日

○上海、基隆、打狗行(大連出帆)
安平丸 三月十六日 午後四時出帆
新高丸 三月廿四日

仁川切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番 五五〇番
京城切符發賣所 内國通運會社支店 電話七〇八番
中國四國沿岸各港行船客に對し當分の間同區間切符より五割引を以て連絡乘船切符發賣仕候

汽車

[illegible]

京城日報　第三[illegible]號

帝都より　鐵骨生

○各方面より齎らし來る支那の革命騷亂に對する電報は頗る虛僞多く且つ誇張に過ぎて悉く信認する能はざれども革命軍の勢力漸次增大して北京政府は最初の廣言にも似合はず容易に討伐の功を奏し兼ね今や殆んど之れを持て餘し居るは掩ふ可からざる事實なり

○先きに帝國政府は豫じめ今日の騷亂起る可きを憂慮し他の四國と申合せ袁總統に對して帝政の中止を報告したるに答へて帝政は天意民望に從ふものなれば之れを實行するも決して國內に騷亂の起ることなしとて此の好意的勸告を拒絕したり

○斯くして彼は着々帝政施行の準備を進めたりしかば果然蔡鍔が雲南に討袁軍を起して獨立を宣言するや所在響應影附して今日の如く大騷亂を釀生ずるに至れり若し北京政府が數月間にて之れを鎭撫し國內の秩序を回復するを得ば何にも云ふ可きことなけれども其の騷亂益す擴大するに至らば帝國を始め列國の利權を害すること甚しかる可しされば此の際袁總統は如何なる計劃を以て此の難局を切り拔けんとするか支那の前途を思へば實に寒心に禁へざるものあり。

○支那の騷亂は東洋の平和に影響を及ぼし帝國の利害關係最も大なるものあれば最早袖手傍觀を許さずとて國民外交同盟會は去る二十日築地精養軒に都下の新聞通信記者を招待し對支大會準備に就き種々打合をなし更に來る二十七日同所にて國民的大集會を開催するに決したるが之れに對しては黑龍會、對支聯合會、玄洋社は云ふまでもなく國民義會、城南莊組も共に步調を一にして大活動をなす可しと云ふ

○外交問題は國家問題にして一黨一派の問題にあらざるは何人も主張する所なれば須らく國家問題として之れを論じ黨派問題として贊否するの弊萬ある可からざる也

○特に對支問題の如きは終始間斷なく直接に間接に帝國の利害關係に大影響を及ぼすものなるを以て其の大體方針に於て國民一致の方針を取らざる可からざるは無論なりとす

○今や帝國は對支外交を根本的に解決するに實際千載一遇再び得難き好機會を捕へつゝあり然も國民一致せずんば[illegible]ンスを失はん天の與ふるを[illegible]却つて天の咎めを受く、[illegible]なる哉。（二月二十二日）

明太魚より肝油
中央試驗所技手　小林友治氏談

本所の命に據り總督府水產課萬浦技師と同道して朝鮮にかける明太魚の本場たる咸南新浦に航し更に清津に到り親しく其漁獲方法を見明太魚の肝臟より採取する魚油に就き調査し來り之より肝油を精製せんとの研究に資する處ありたり

△明太魚より魚油　元來明太魚は鱈の一種にして日本內地の所謂スケトオ鱈と稱し朝鮮人の嗜好無上の魚類にして年額百萬圓に上る事世の熟知する處なり新浦のみにても本年の漁期（昨年十二月より本年二月に至る）に於て既に五萬駄を漁獲し得たりと云ふ一駄は二千尾を以て一束とす元來明太魚は漁獲すると同時に海岸にて腹を裂き臟腑を去りて乾製するものなるが從來臟腑は總て殆んど捨てゝ顧みず唯肉のみを食用とし其價格のみにて年々百萬圓の收獲ありしものなるが近來新浦邊にては此臟腑より魚油を製し以て燈用として廢物利用的利得を收むるに至れり元朝鮮人を主とし日本人にして就業せる者ありしも止めて今は行はず

△製油方法と利用　其魚油製造方法を見るに刳出せられたる臟腑のみを集めて溫暖なる箇所に累積し置き自然腐敗を來さしめ兩三日を經て充分に腐敗せし處を釜に入れて約百度の加熱を爲せば上方に黃色の脂肪分浮游し來る之を汲み取りて一方に貯へ更に其殘餘の滓部へ新臟腑を加へて煮沸加熱二百五十度乃至三百度（目測）に及べば油質分解の爲め白煙頻りに立騰る茲に於て一方に貯へたる冷却せる黃油を加ふれば冷熱相打ち沸騰して倏忽裡に水分悉く蒸發し盡くす同時に滓は高熱の爲め炭化して黑色を呈し恰も半燒餠の如き形態となりて釜底に附着す乃ち之をスプーンにて抄出し側の樋にて瀘せば油質分は流れて樋下の桶に溜る一見黑褐色の濃液體なり之を石油罐に詰め以て販出す恐くて製出し得らるゝ油量は一駄（二千尾）より聚集したる石油罐五罐の臟腑より魚油二罐を得一罐二圓內外にて賣買せらる即ち一萬駄より二萬罐を得一罐二圓と見れば五萬駄より十萬罐十萬圓の收益ある都合なり然も尚更に油粕を生じ其割一駄より三貫目三四十錢の價を有し能く製油に使用する燃料代を出すと油粕は肥料となす販出せらるゝ魚油は恰も機械油に似て暗褐色を帶び專ら燈用に供せらる即ち楓と混じて一種巨大なる蠟燭型のものとなし壁間に挿して點火燈用とす

△無臭肝油の研究　此採油方法は朝鮮人の方法としては頗る上乘のものにして比較的燃料も經濟的に使用せられ臟腑分も割よく採取せられ居れりされど尚方法を盡さば臟腑分を一層割よく採取し得んかとも思はれ量は兎も角も質に於て優良のものを採り得べし予の研究の本旨は啻に玆に止まらず更に此魚油を精製して無臭肝油を製出するにあり即ち之を低溫度に冷却すれば白色に凝まる臟分と固まらざる液體とに分離す固形物は以て石鹼製造の原料にすべく液體を無臭肝油となす[illegible]は上乘の滋養劑として現に盛に製出販賣せられ居る事世の知る處なり明太魚より製したる無臭肝油も[illegible]理論に於ては[illegible]同樣の[illegible]にして成功せば[illegible]ならざるべきか

京城雜筆　山縣生

▲シカゴ大學の教授スタール博士が先日當地に滯在中、鍾路の青年會に於て朝鮮人の聽衆に對し、不穩なる演說を爲したりと傳へたる者あり。記者は其演說を聞かざりしが故に、元より確言する能はざれど、博士の人格より推察して、博士が傳へられし如く朝鮮人を煽動するが如き言論を試むるの人に非ざるを信じたり。其後傳へ聞く所に據れば、博士の演說は決して不穩のものに非ずして、其趣旨とする所は朝鮮固有の文明を失はざることを朝鮮人に勸告するに在りしといふ。

▲斯の如き言論に對し、何人も元より異存を唱ふべきに非ざるは言ふ迄もなく、眞に朝鮮を愛する人は寧ろ贊成する所なるべし。總督府の方針も亦朝鮮古代の美術、美風、良俗を保存するに在れば、總督府は博士の演說を歡迎こそすれ、これが爲めに迷惑を感ずるが如き事は無かりしならん。

▲博士は大に日本を愛する人にしてシカゴに在住する日本留學生の博士に[illegible]する者少なからずといふ。左に轉載するは去二十二日發行の萬朝報に出でたる記事にして、これに依りて見るも博士が何等排日の感情を有せざるは明白なり。

五週間の朝鮮漫遊より歸來せる市俄古大學教授スタール博士を新橋の定宿に訪へば、朝鮮土產の骨董珍什雜然たる傍に、羽織袴で畏り返れる日本通の同博士、諄ふるが如き講說的口調にて語るらく

「今次の朝鮮旅行は四年振り、半島の文物年を逐うて近代化するは止むを得ざるも、而も其の間一般の進步發達著しきを看る。寺內伯は良總督也。伯が如く土民たると內地移住民たるを問はず、等しく之れに對して公平無私なるは至難事にして、予の伯を以て良總督となす所以も、實に玆にあり、彼の單なる蕃民教化に過ぎざる[illegible]に比して、朝鮮には數千年の文明智力あり、其の[illegible]も非ざるに於て、日本の朝鮮統治は確かに成功と謂ふべし。唯だ予の朝鮮往住民に對する苦言ありとせば、彼等は遍かに土民に對する優越の念を棄て、總督の態度に倣ひ、[illegible]の態度を以て彼等に對すべく、日本帝國の信賴すべき一部とせんには、須らく此點に留意すべき也」

博士は又た鮮に來朝せる[illegible]批評に對して一部の識者がなせる攻擊を、頗る兒戲的也と慨し、合衆國に於ける最大[illegible]日論者たる博士の言は[illegible]傾聽すべき也と[illegible]

▲疑心暗鬼を生ず。疑ひの眼を以て見、疑の耳を以て聞く時は、物として惡しく映ぜざるはなく、言として不快に響かざるはなし。赤心を人の腹中に置く時は、敵と雖も遂に我友人となる。我等は總ての人に對し、大に意を用ゆる所なからざる可らず。

▲我國人の多くは常に餘りに神經質なるが如し。苟も我の爲す所に反對し、之を非難する者ある時は直に之を敵の如く見て、惡口雜言至らざる所なく、然も他を批評するに當りては何等の同情も斟酌も示さゞる所多きは、記者の常に遺憾とする所なり。スタール博士の如きも我國に[illegible]始終渝らざる所なき我國の良友が一二の非難の言を發したるの故を以て、直に之を以て敵對の證とし、怒り恨むは大國民としては餘りに狹量ならずや。

▲眞友は甘言のみを呈する者に非ずして時として苦言を吐くこともあるべし。今後我國は名實共に一等國として世界の舞臺に立つべければ、一方に於ては我に反對する者あると共に他方に於ては我を賞讃する者益々多からん。我國人は寬容の德を養ふを努め、外人の批評に一喜一憂して、容易く喜び容易く怒るが如き輕卒の所行あるべからず。

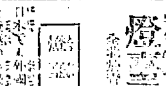
哈爾賓貿易

在哈爾賓の逢坂總領事より大阪商業會議所に達したる私信の一節左の如し（大阪支局）

近時日露貿易殷盛と爲りつゝあるが哈爾賓に於て之れに從事せるものには三井物產出張所、日滿商會、杉浦洋行、熊澤洋行、梅原洋行等あり又日支貿易を業とせる者には小寺洋行、多田商會出張所、協信洋行支店、南海洋行、森脇洋行、馬淵商店、安部洋行、田中洋行あり何れも此の種の[illegible]をなす者あるも何れも薄資にして多くは一獲千金を夢想せる徒輩なるため却つて委靡にして振はず、而して日露貿易の現況は從來北滿地方は綿布、綿糸、綿絲の輸入を主として露國を經由して米國其の他外國品多數に輸入しありしが近來鮮滿國境の減稅と日鮮滿聯絡、朝鮮鐵道及び南滿鐵道を經由して輸入する貿易品は著しく增加し今日にては殆んど外國品を壓倒せん勢力を呈し來れり其中燐寸、砂糖、陶器、米、紙類等は頗る北滿市場に於て歡迎せられ居れり然れ共戰前の[illegible]一位にあり獨逸製洋雜貨を壓迫せる等は全く戰亂に因り通商關係杜絕したるためにして決して我が製品の優秀なるに非らず又從來の商路は唯一のみにして即ち浦鹽より東清鐵道經由と大連經由長春より東清鐵道の二者のみなりしが時局のため閉鎖せられ陸路哈爾賓を吞吐口として此の好機を捉へ販路を開拓するに於ては戰後の競爭に對して豫め備ふべく優良品を製出することを要す今取引有望品を示せば左の如し

綿織物、刺繡品、寢具裝飾品、衣類、帽子、靴、[illegible]、傘、雨具、貝細工、[illegible]、ナフキン、九谷燒、漆器、木製品、[illegible]、手拭、[illegible]、硝子製品、陶磁器

燈臺の話（6）
G・O生



燈臺の等級

[illegible]

朝鮮の燈臺　朝鮮で第一等燈臺は[illegible]

七發島燈臺で、日本では下總犬吠岬燈臺を始めとして、他に十五箇所ある。朝鮮では北岸の洋中なる彭任嶼燈臺を始めとして、他に二箇所ある、關東半島では老鐵山燈臺のみで、樺太の燈臺中には第一等の燈臺はないのである。

右の樣な次第で、燈臺の大小は照光器＝發光器＝に云へば、折射器の內徑の大小と火口の光力とで定めるのが通常原則として、日本の燈臺は左の樣に定めてある。

	折射器の內徑	折射器の高さ	火口の光力
第一等燈臺	一、八四米突	二、五九米突	一、三〇燭光
第二等燈臺	一、四〇米突	二、二七米突	一、三〇燭光
第三等燈臺	一、〇〇米突	一、五七米突	一三〇燭光
第四等燈臺	〇、七五米突	一、二五米突	一三〇燭光
第五等燈臺	〇、五〇米突	〇、七二二米突	五八燭光
第六等燈臺	〇、三七五米突	〇、五四一米突	

[illegible]

京日詩壇

○龍年發會分韻得支　木田芳洲
[illegible]
評曰　金聲玉振、曲盡風流、詩酒之[illegible]
○同上　望月桂軒
[illegible]
○和高橋豁齋元朝日號韻　高田小芬
[illegible]
評曰　以氣遣詞、秀語盈湧、[illegible]

日報俳壇　雉子郎選

水仙花

窓に直ぐ崖の地膚や水仙花　梭貴子
水仙や部屋に滿る灯に倚り　同
水仙や日避けて擇む衣の色　同
水仙に垣笹喰める小猫かな　同
父の死を知らで子育つ水仙花　雲帝
經譜なき事足る祖母や水仙花　同
つゝましく選子住居や水仙花　鹽巢
水仙に池澄みて魚の瘦見ゆる　史龍
水仙や月を領して戶にありし　東村
水仙や砂流れ込む低き池　容堂
御佛の居缺けて水仙花　韮城
水仙や隣地求めて堰つ[illegible]　空螺
水仙や見知らぬ犬の緣に居る　よしみ

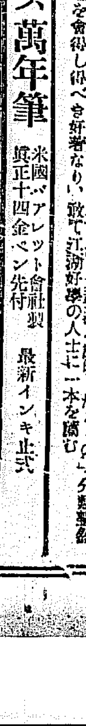
故法學博士川名兼四郎先生著
最新刊
債權法要論
本書は故川名博士の遺稿にして其說く所民法債權編の全部に亘り且各種の契約に關する部分を缺くのみ、吾國債權法に關する參考書稀弱なる今日民法中特に債權總則を專攻したる著者の遺稿本書の公刊せられたるは正に攻究家の一大福音たらずんばあらず。
全一冊　菊判上製　紙數七百八十頁　正價金參圓　小包料拾八錢

川名先生　物權法要論

早稻田、中央、法政各大學講師　行政裁判所評定官
法學士島村他三郎先生著
日本民法總論
菊判上製　正價貳圓　郵稅[illegible]

最新刊
地方自治制釋義
行政法學の研究に付き一種の見解を有する著者が地方自治制の全般に涉り其要義を說明したるもの、殊に地方自治行政の法理を會得し得べき好著なり、敢て江湖好學の人士に一本を薦む
全一冊　菊判上製　紙數六百九十頁　正價貳圓五拾錢　小包料八錢

東京神田今川小路　金刺書店　振替東京八四二四

目錄送呈
◎完全無比の實用經濟
覇王グラス萬年筆
米國パアレット會社製　眞正十四金ペン先付　最新インキ止式

◎諸官衙銀行會社其他團體にて多數御購買の向へは特に割引仕候
◎朝鮮總代理店
京城本町二丁目（電話四五番）振替東京二五六番
釘本藤次郎本店

少年と少女
三月號出來
全誌武裝　少年には武俠小說　野球小說　冒險小說　探偵小說　其他滿載
少女には表紙を厚紙に貼れば直ぐ美しき雛屛風が出來る　極彩色口繪　高女案內
東京　時事新報社
定價一冊　三ヶ月分[illegible]

朝鮮產業指針
朝鮮總督伯爵寺內正毅閣下題字
朝鮮總督府政務總監山縣伊三郎閣下題字
朝鮮總督府農商工部長官石塚英藏閣下序文
朝鮮總督府勸業模範場長農學博士本田幸介閣下序文
監修　蟻生十郎
編者　大橋清三郎
同　川端源太郎
同　三輪信一
總クロース　四六倍版　竪九寸　横六寸五分　一千五百廿頁　裝釘金文字　挿入[illegible]　定價金五圓

本書は始政五年記念朝鮮物產共進會に各當業者が當局の審査を要求したる事業の經營方法及成績に關する記述書中農業、拓殖、林業、礦業、水產、金融等主として直接產業に關する記述書を採擇編纂したるものにして之れに附加するに李王職を始め重要會社と銀行の事業を以てし尚且總督府の施設を以てしたるは官と民との兩面より朝鮮產業の發達に努力せられつゝある手を最も適確に紹介せんと欲するの微衷に外ならず。本田博士序文中の一節に曰く『共進會展示の出品物たる農產と水產と其の他の生產とを問はず、各人勤勞の結果にして之によりて裨益する所尠なからざりしと雖も、吾人の更らに知らんと欲する所のものは該生產物か如何の計畫如何の方法如何の勞作及經費によりて提供せられたるかに在り、然るに不幸にして多數の觀覽者は概ね生產品のみを見て事業成績を逸し或は學理に據り或は實驗に基き、一生の心血を注ぎ、最善の努力を盡し或は多大の資財を抛ちて成りたるものなるを知るに由なかりしは、余儕の最も遺憾とする所なりき、今者開發社諸子が本書を編纂し美を拔き粹を萃め之を剞劂に附し朝鮮產業の發達及改良に資せんとするは、蓋し近來の快擧と云ふべし』云々誠に能く本書の眞價を發揮せられたるもの謹で玆に錄し敢て自贊せず
要之、本書は朝鮮の產業は如何の情態にある乎の質問に對する最も適實切當の答案として見るを得べく、政治家事業家技術家其他如何なる階級を問はず一日も座右に缺くべからざる寶鑑にして復た指針たるを疑はず、我社が此送舊迎新に際し本書を提供するを得たるは最も光榮とし且滿足する所なり（開發社發行）

發賣元　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

後場（止）　寄付　十圓七十[illegible]錢　高値　十圓七十三錢　安値　十圓七十二錢　十圓六十七錢
二月限　九百石　三月限　四萬七千六百五十石　四月限　五萬五百五十石

第三十七回帝國議會

貴族院(二十五日) ▲安協案可決

貴族院は二十五日午前十時開會諸般の報告ありて日程に入り

關税定率法中改正法律案
朝鮮生産に係る生果核子及び銅の輸入に關する法律案

右二案を一括して武富藏相提出理由を説明し委員附託

證券を以てする歳入歳出に關する法律案

藏相の説明ありて委員附託

理化學を研究する公益法人の國庫補助に關する法律案

河野農相提案理由を説明し江木千之氏理化學の研究は現下の急務なり政府は如何なる方法を以て是が研究を完全にせんとするや又理科大學には多數の研究學生及び教授あるも研究費が僅かに四千圓に過ぎず是れに對し最善の努力を務すべきや否やを質し藏相の答辯あり岡田良平氏本案の目的は理化學を專門に研究せんとするにあり而して其の所管を農商務省とせるは[illegible]と質し大津參政官理化學の研究は一昨年來實業家の間に熱心に唱導せられたる結果成立したるものにして所管を農商務省とせるは沿革に據りたる次第なりと答へ岡田氏は更に所管の相違に就き質問し大津參政官是に答へ次で田四郎氏の質問に對し河野農相は法人組織は三月に成立すべく資金八百萬圓中五百萬圓は民間に募集する豫定なりと答へ衛藤農相と藤田氏との間に研究科目に就き問答ありて委員附託

大正三年度豫備金支出の件
大正三年度特別會計支出の件
大正三年度臨時事件費支出の件
大正三年度帝國鐵道會計積立金支出の件

は一括して委員附託

國籍法中改正法律案

委員長より委員會に於ては原案を修正可決せりと報告し報告通り可決

銀行條令中改正法律案
貯蓄銀行條令中改正法律案
北海道拓殖銀行條令中改正法律案

を一括し德川頼倫侯委員會の經過を報告し報告通り可決

明治三十九年法律第三十一號中改正法律案

原委員長の報告ありて報告通り原案可決

外國債の整理償還のため内國債を發行することに關する法律案

松平直之伯委員會に於て原案可決の旨を報告し目賀田男は總理大臣に質問

問ありとて出席を求めたるも病氣のため出席なく高橋男自席より現に政府の保有せる正貨幾何、日本銀行の所有する正貨幾何、藏相の所謂金融緩漫の標準如何、正貨の蓄積如何と質し藏相は正貨の在高五億一千萬圓にして此の中政府の有するもの一億五六千萬圓ありと其他の質問に答へ高橋男更に正貨に關し頗る質問を繰返し石渡政一氏は前日の藏相の答辯を責め藏相の言明は速記錄に現はれ居る通りにして言明の趣旨には更なしと答へ之にて討論に入り高橋男は本案の提出動機如何は問ふ所に非ず其の目的既に國家に不利益たるを以て反對せざるを得ずと前提し來だ償還期限の到來せざる外國債に對し減債基金法五條の例外を設け高利の内債を發行するが如きは當を得ざる財政策に非ずと説き更に内外債の區別の必要なきに論及し直ちに採決に入り大多數にて原案(安協案)を可決確定す次で

高等試驗法案
裁判所構成法中改正法律案
高橋長官は政府は現制度改正には同意なるも本案には絕對反對なりと述べ委員附託に決し午後四時四十分散會

衆議院(二十五日) ▲平凡なる下院

衆議院は二十五日午後一時二十五分開會早速副議長議長席に著き諸般の報告後高木益太郎氏(國民)發言を求め貴族院は今日迄に衆議院の議了せし法律案二十六件中僅かに一件を可決したるのみ其の他の政府案も貴族院にて議了せるは半數に滿たず斯の如き場合政府は果して會期の延長の意志ありやと質し早速議長は會期延長に關し政府より何等の通牒を受けたる事なし又政府に延長の意志ありや否やに付き質すべしと答へ日程に入る

曆法に關する質問

現行太陽式が國民の生活に伴はざる點を指摘し是が改正を加ふるにあらざれば不都合の點多しと曆法の沿革を述べ

貴族院提案の所謂安協案に關する質問

清水市太郎氏(政友)公債借替に就き政府攻擊の火の手を揚げたれども質問者が質問者たけに一向議場の氣乘緊張せず

關東州に於ける帝國の威信に關する質問

早川龍介氏(同志)は關東州友人より電報あり之を朗讀して演説に代ふと前置して質問の趣旨を朗讀し

輕便鐵道建設に關する質問

根本正氏(政友)政府の輕便鐵道建設に關する方針に變狀形ありて東北地方起工を延期又は中止したる個所を指摘す

富山、阿蘇、木宮、小室、淺間、星谷社、格杢社に關する質問

生田唯一郎氏(政友)別に説明せざる趣意書に依り質問を提出せる旨を述べ

綾部惣兵衛氏(同志)血清の効力有無に關する質問は國民衛生上重大の關係あり聞く處に據れば血清の効力に疑はしきもの多しと云ふ政府は血清の檢定を嚴行しつつありや其の結果如何と質し

恩赦奉行に關する質問

中村尚武氏(同志)[illegible]前提し御大典に際しては特赦を豫期し[illegible]

で日程に入り

華族世襲財産法中改正法律案

吉久嗣氏(政友)の報告通り可決此の時山田一氏(同志)日程を變更し

大正四年度歳入歳出總豫算追加案
同上各特別會計歳入歳出豫算追加案
外國庫の負擔となるべき契約を要する件

を議し豫算委員長の報告を聞き國籍法中改正法律案を日程に上すべしとの動議を提出し高木益太郎氏(國民)の反對ありて記名投票を行ひ可とする者百二十七否とする者六十一にて日程變更に決し片岡委員長より前記諸案を一括して議題とし經過並に結果を詳述し各案共多數にて原案を可決せりと報告し鈴木梅四郎氏(國民)齋藤珪次氏(政友)修正意見を述べ山田珠一氏(同志)小山松壽氏(公友)の原案贊成意見あり相島勘次郎氏(國民)は歩入會社は衆議院構内衆議院俱樂部内に運動事務所を設けある山名義人は林田前書記官長なるが然らば議院の體面に關せずやと質し副議長答辯の限りにあらずと答へ高木益太郎氏(國民)は相島氏と同樣の質問を爲し大禮記錄編纂は大禮使の事業に非ずして政府の事業なり大禮使殘餘金を賞與として大禮使役員に分配したりなど云ふは政府もたき風説なりと言明し相島勘次郎氏(國民)剩餘金を使用し盡し各種の追加豫算を要求するとは何事ぞや政府は財政破綻を防止し得る見込ありやと質し藏相は政府は見込あり何分本豫算案に贊成を與へられん事をと述べ高木氏と藏相との間に二三の問答ありて討論終結先づ修正案に就き各別に採決の結果何れも少數にて否決何れも委員

長報告通り全部可決確定

國籍法中改正法律案

藤澤參政官の説明あり杉山四五郎氏(政友)と參政官との間に一二の問答ありて委員附託六時三十分散會

◎鮮米課税案

(東京特電)

二十五日衆議院に於ける大正二年法律第十七號廢止法律案(米の輸入税復活案)委員會に於て昨日に引續き質問を繼續し田淵真四郎氏(公友)は先年米價調節會を組織したる當時に比し今日に於ては農家困憊の程度甚しきに拘らず此際應急策なきは如何と問ひ道家政府委員は當局は應急策として地租延納及び低利資金の供給等を企て其他調節會に於て研究中の結果に依れば露西亞に輸出の餘地充分なるが如しとて當局の所見を述べ滿井政府委員最近數年間の統計を根據とし將來價格に輸出額を增加すべし川崎安之助氏(中正)は原案贊成の意見を述べ本案は決して朝鮮農民を壓迫するものに非らざるのみならず寧ろ移入を防止せざれば鮮米移入の爲めに内地農民の困難を招くべし又反歩の租税其の他の公課は一反歩に付き内地に於ては四圓以上なるに朝鮮にては六十一錢餘に過ぎず内地に移入の鮮米に課税するは朝鮮の農民に對し決して酷なるものに非らずと云ひ田村新吉氏(公友)は原案に反對し鮮米の課税は朝鮮農民の困難を圖らむとするもの[illegible]とし外國に對する外國米と同一なるが如きは[illegible]日本國旗の下に等しく朝鮮の一部に課税するは其の根本に誤りあり今や朝鮮は日本の一部にして[illegible]朝鮮のみに課税するは不可なりと云ひ[illegible]地方の見地より頗る異れり殊に殖民政策上の見地よりするも本案は適當の處置に非ず米價調節の爲めに朝鮮を犧牲とすべきものにあらずと云ひ採決の結果田村氏の説は少數にて破れ原案は大多數を以て可決せらる又豫算總會に於て總督府特別會計大正五年追加道路橋梁復舊費は原案通り可決

豫算委員會に於ては各分科主査の報告通り決定せり(東京特電)

◎東拓騷擾

愈々該案握り潰しに決定せり

東拓案に對する同志會幹部の態度は是が爲め明日以後の同委員會は開會せざることに決せり(東京特電)

◎第二回論功

日獨戰爭論功行賞陸軍第二回發表は左の如し

歩兵大尉從六位 濱口清
叙功三級授金鵄勳章叙勳四等授旭日小綬章
歩兵少佐從六位 加藤豊三郎
叙功三級授金鵄勳章授旭日中綬章
歩兵少佐從六位 岩田五郎
叙功四級授金鵄勳章授旭日中綬章
非常勳功者の内甲乙二級に屬する者左の如し
附屬歩兵第五十八聯隊歩兵少尉正八位 中村次喜藏
叙功五級授金鵄勳章叙勳六等授單光旭日章
歩兵特務曹長從七位 小川厚哉
叙功六級授金鵄勳章
歩兵軍曹 江藤房吉
叙功五級授金鵄勳章

◎ヴェルダン獨軍奮鬪

聯合軍は水泡に歸すべしと觀測す

獨逸皇太子の率ゆる獨逸軍は佛國ヴェルダン附近に於ける佛軍戰線を突破せんとして苦戰大に努め居れり而して獨逸軍は延長七哩の佛軍前線を通じて是を突破前進する事二哩にして更に三千名を捕虜とせりと主張せるも佛軍にては某々地點を撤退せる旨承認し居れども然も獨逸軍に多大の損害を與へたりと云ふ聯合軍諸國は獨逸の奮鬪を以て水泡に歸すべしと觀察し居れり(倫敦電報)

◎獨墺船三十六隻捕獲

リスボン來電に據れば葡萄牙國海軍艦隊司令官はソダグスカワ(葡萄牙國西南海岸)にて葡萄牙國々旗を掲揚したる獨墺船舶三十六隻を捕獲せり

◎記念日と各學校

來る三月十日は陸軍記念日に相當するを以て龍山駐剳軍よりは市内各學校に將校を派し軍事講話を爲さしめ終つて各學校生徒は職員引率の下に龍山練兵場に於ける駐剳軍隊の模擬戰を參觀すべしと

◎長飛行成功

廿五日は天氣晴朗にして二日間延期されたる奉天大連間長距離飛行會は擧行さる伊庭中尉はモ式十六號に搭乘午前八時五十分奉天發四百米突の高度を保ちつゝ十時五十分無事大石橋著大喝采を博し同地に待ち受けたる[illegible]橋の南方公地に著陸すこの觀覽場には一萬以上の群衆雲集し[illegible]米突の高度を保ちつゝ午後二時五分無事大連著途中風に遭ひ機體搖られしも無事なるを得たり大連市長の歡迎辭を代讀し次で中澤中尉は同日午後三時半觀覽場を離陸し大連市上空を飛翔し明日旅順に飛行を爲す筈[illegible]行はるべし(大連特電)

米の群山(九)

中島生

六 貿易發展(續)

前記の要點について群山の貿易狀態を見るに先づ(一)内地關係と外國關係とを見るに、之を明治三十二年開港以來の趨勢に見るに、沿岸貿易は内地關係が主となつて居る。即ち輸出は三十九年に初めて三千七百餘圓を示し爾後増加して大正三年に十一萬餘圓、輸入は卅四、五の兩年に僅か二三百圓なりしが三十九年に三千餘圓となつて居る、之に對して内地移出は三十四年の一百十五萬餘圓より大正三年には實に六百餘萬圓、移入は三十四年の七十五萬五千餘圓より三年の二百餘萬圓に何れも激增して居る。以て群山港が内地關係の貿易に長足の發達をなした事を知る。(二)次に輸移出入何れが多いかと云へば、大正四年度には輸移入額二百二十九萬餘圓、輸移出額七百二十八萬餘圓、即ち輸移出は著しく輸移入に超過して居る。(三)主要なる貿易品は如何、輸移出品として價額の最も大なるは何と云つても玄米である、大正三年には其輸移出額は四百八十七萬餘圓の多きに上り、次は精米で九十餘萬圓、其他十萬圓以上のものは大豆、牛皮等で、此も米の比較にならぬ。[illegible](四)[illegible]大部分は内地行で[illegible]

◎南吉北語

北京政府の公報を見ると鳥渡三國史でも讀む樣な處がある即ち[illegible]隊長劉法坤大砲を以て邀擊すなんて却々面白い▲此の調子では何うしても肥馬に跨り青龍刀を振り廻す豪傑でも飛び出し相な▲さうかと思ふと重慶の北軍は飛行機を飛ばして居る▲飛行機で三國史の戰爭をやれば面白からうが飛ぶ丈けなら何でもない▲敵と味方と間違へて爆彈でも投げ樣ものなら滑稽だ▲イヤ冗談ぢやない彼の手合ひは何をやるかも知れないからナア▲青龍刀で門を造らせて仰々しい重慶入りをやつた曹錕司令官閣下はたしかに重慶に居る筈だが何をして居るか知れない▲イヤ何うも疲れたから一杯なんて毎日香氣に飲んで居るでもなからう▲ホロ醉機嫌でまさか戰爭見物と洒落込んでも居ないだらう▲もとより妻君を北京に人質とせられて氣を腐らして居る樣な年でもないがナア▲何ぞ四川入りを張敬堯に魁されて北京政府のお覺え頗る宜しからずだからと▲敵前兩將軍の睨み合ひなんて革命軍の方では待つて居ましたと許り大喝采だらう▲北軍が至る處で掠奪などの横暴を働いて居るのは事實だが▲横暴もやる筈だと云ふのは南方では紙幣が一文にも融通が利かぬ相なまい▲何故融通が利かぬかと云ふと所謂寶の持ち腐りだからやり切れ政府が兌換券發行銀行の現金をすつかり取り上げて軍費に當てたからだと云ふ▲湖南の中國交通銀行などは取り付けに遇つてボロを出し▲上海の中國銀行は動けなくなつて支店は逃げる銀行は閉店したらしい▲銀貨でも袁總統の肖像の付いたのは鬼頭と呼ばれて▲嫌はるゝのみか歩打をせなければ融川せぬとは驚く▲あべこべお釣を付けて買物をする圖なんて支那でこそ初めて見る圖だ▲北京政府はさらに金と云ふ勁敵が殖えた譯だ

派遣隊交代期

(水原公州大田大邱部隊は三月[illegible])二時十八分滿洲より龍山[illegible]

[illegible]京畿道管内に屬する大豆粒[illegible]勸業獎勵の方針にて大豆粒選の必要を各郡面に[illegible]金融組合普通學校に[illegible]各共一般[illegible]粒選種子を用ひたるものは良好なるを以て價格も從つて高く一石につき五十錢位高位にありと此の種子に對する農民の意嚮は一般に[illegible]

[illegible]止となりしが奉天軍備徴の議は中央政府との間に協議纏まれるが如く第五十四旅長張占鰲砲兵二十七團長[illegible]旅を得るにあれ共張が果して此希望に應ずべきや或は兩師より一混成旅を編成して[illegible]軍に參加せしむる事[illegible]

◎仁川海員試驗成績 [illegible]仁川出張所に於て施行中の處二十三日を以て全部の終了を告げ二十四日成績發表せられたるが受驗者總數三十九名にして合格者は乙種一等運轉手三名[illegible]

子供號
婦人之友三月號

長上の缺點に對する子供の目 羽仁もと子
憐れな女文豪 三宅博士
父として何を爲しつゝあるか
其一 田川大吉郎 其二 安部磯雄 其三 早川鉄治 其四 佐々木信綱 其五 丘淺次郎 其六 内ケ崎作三郎
日本は子供の樂園 湯原元一
子供遣りたし(教育ある婦人の私生兒)
遂に唱歌を歌ひました…内氣な子供 婦正質驗
斯うして子供を子守に預けます
長篇小説 朝の歌 佐藤紅綠
嫁に對する姑の心理姑に對する嫁の感情を描き來つて深刻を極む大評判の家庭小説
■初雛に要つた費用調べ(家計の研究)
■學費から見た中等教育第一年
■子供のない婦人の煩悶と慰藉
■初生兒の人工營養 醫學士佐久間兼信
■子供の育て方の注意不注意
模範的婦人用語 毎號募集毎號發表
一冊十八錢 郵税一錢五厘 半年分共一圓五錢
東京雜司ケ谷 振替東京壹六〇〇 婦人之友社

京城春川間自働車運轉廣告
京城春川間自働車營業を今月廿五日より開始仕り(毎日午前七時京城發)親切叮嚀に取扱可申候間御旅行の方は御乘車の程奉願上候
京城南大門通り一丁目二十二番地
廣橋京春自働車組 電話二一九番

■五百部增版■和裝美本■
稀世の珍書 賊のお松 全一名 杣田三五郎物語
定價八十錢 郵稅六錢
[illegible]
發行所 東京市本郷湯島四丁目 振替東京二三七六八 文教社

雜誌定價値上廣告
歐洲戰亂ノ爲メ紙價暴騰シ加フルニ印刷料モ亦値上ヲ來シ候ニ付不得已來四月號ヨリ定價貳割内外値上ノ事ニ相定メ候間此段謹告致候
大正五年二月
東京雜誌組合

電機學校 電氣化學家新設
[illegible]入學申込は來る三月末日限
■規則書は郵券三錢を送附
■東京市神田區錦町三の一八 振替東京一三一八四番
■校外生(校内生と同資格) ■講習生(普通の通信教授) 隨時入學

眼科 內科 小兒科 入院隨意
京城黃金町三丁目赤門通(電話二四四三番)
本田醫院 院長本田建義

朝鮮酒界の白眉
黃酒
腐敗酒の續々移入され各地古酒拂底の昨今弊店は香味卓絶品質醇良なる古酒を潤澤に貯藏致居り至極低廉に提供致候
平壤停車場通
中村酒造場

遭難頻々　竹島燈臺と直江津丸

●荒れに荒れる海神

最近犠牲になつたのは

高田丸＝立神丸＝熱田丸＝伊豫丸＝印度丸＝京義丸＝大仁丸＝地久丸＝直江津丸＝土海丸＝三千丸＝乾坤丸

咸鏡丸＝怖しい金剛山の紅い雲

蘇廉地中海に於て日本郵船汽船八阪丸が撃沈されて以來其處にも此處にも到る處汽船の

▲遭難頻々たるは　何うしたものであらうか、第一從來餘り故障の無かつた信用ある日本郵船の汽船でさへ既に加奈太沖の高田丸の衝突、門司港内に於ける立神丸の衝突、同巖柳島にて熱田丸の坐礁、次いで神戸に於ける伊豫丸の火災など算へ來れば殆んど海難大流行のやうである、それにまた大阪商船の汽船は大西洋に於ける印度丸の遭難を始め門司港内で立神丸と衝突した京義丸あり香港沖で

▲支那汽船と衝突　した大仁丸ありこれも最近却々の遭難續きである、それに朝鮮近海は大阪商船の爲には鬼門と見えて最近咸北城津附近の舞水端で坐礁した地久丸もあれば又南鮮木浦沖の竹島附近で坐礁した直江津丸もある、それから最近釜山港口に於ける土海丸から元山港頭の三千丸の遭難もあり其他大西洋上に於ける乾坤丸遭難も各社大流行の姿で海難が頻出して居る

▲朝鮮郵船汽船は　また數日前江原道注文津沖で新造船咸鏡丸の遭難ありこれも少々流行にかぶれたやうに見られるが併し他所に比較すれば故障の尠ない方で先づ幸せである、全體かゝる遭難頻出の原因は何に由るのであらうか中には同情すべき不可抗力によるのもあれど多くは船員の過失不注意に起因するやうでもある、また一面から考ふれば近來日本の航海業は非常な大膨脹大發展を試み殆んど世界

▲航海業者の覇者　たらん意氣込みとなつたので何れの汽船會社にても船員を增すと同時に乘組員の移動を行つたからである、幾ら航海に慣れた船長及び運轉手でも全く新らしい航路へ向へば往々間違ひは生じ易いものであるから近來の海難は全く慌しい事に原因する事と思はれる又たむかしから二八月は風の秋と云はれて秋と冬期間は航海業者にとつて最も恐るべき時であるが殊に朝鮮近海に於ては

▲名物の霧がかける大雪が降り疾風が襲ふ却々以て危險である、就中東海岸の江原道沿岸で大時化に逢へば鳥渡安全な港に避難する場所がないので困る、江原道の海は崇より太平洋方面の大曲は無いけれ共彼處では海上に變な雲が現れると見る間に一時間も經たぬ間に大荒れとなることが往々ある、又江原道の金剛山脈からは時々紅色の雲が現れることがあるがこれは朝鮮中央山脈から日本海に

▲吹き飛ばす砂塵　の雲であつてこれがまた航海者には警戒される雲である其他西海岸もまた困難な海であるが併し昨日のやうな海難の流行は左樣に度々あるべきものではない（朝鮮郵船會社談）

●短かくて情が籠つて活潑で　新しみのある唄が欲しう御座います

花柳界のためにも＝遊藝師匠山村きみ談

近頃御社でお募りになつて居ります朝鮮の事を詠み込んだ新作の歌はいろ／＼面白いのがございませうがこういふ事は

▼花柳界の　ためにも、その他一般の人のためにも誠に思ひつきの事だと思ひます、朝鮮にはこれまで朝鮮に於ける人情風俗を詠んだ唄でない樣で御座います、流行唄の樣なものでも皆内地から傳はつてくる古いもの許りでございまして、何か

▼朝鮮こ　いふものがハッキリとそして頭に出てゐる歌が所々欲しいと思ふのですけれども、かういふ方面に趣味を有つた人が少ないのかそれとも

▼藝者衆　が三味線に乘せる樣な唄が出來ないのか兎に角あり來りのものばかりを敎へたり唄つたりしてゐるのは

▼殘念で　ございましたが御社の今度のお催しは何より結構な事と思ふのでムいます、お酒の席で唄ふ歌は成るべく情の

▼籠つた　色氣のあるものでなくてはなりませんがさりとて餘り猥らしいものでも一般の流行唄とするには考へものですし餘程難かしいものだらうと思ひます

▼昔の唄　の替唄も面白う御座いますが餘り長いのは感心しません短かくてそして情があつて活潑なものなら振をつけても面白いものが出來ませう、何しろ歌の

▼文句が　出來ましたらば一日も早く節付をして花柳界に唄はれる樣になればいゝと思ひます、それも從來の三味線に乘せたのでは詰りませんから今度は

▼新しく　手をつけたらどんなものかと思ふのでございます

●寳物競賣

北京來信に據れば近日中に清皇室の秘藏せる金銀寳玉類を競賣に附する由專らなり（大毎）

●咸鏡丸の損害は僅少

釜山へ單獨廻航

朝鮮郵船會社汽船咸鏡丸は廿三日擱洲したるが其より先同社にては急報に接し潜水夫を使用し船底を調べしに更に異狀なく船體機關に故障なき故廿五日釜山に向け單獨航せり損害高は僅少なる可しと

●記念日と龍山

大々的祝賀の準備中

三月十日は陸軍記念日に當り龍山に於ては多年の希望なりし常設師團設置に伴ひ同市の繁榮を見る事とて例年以上の祝賀準備をなし大々的祝意を表せざるべからずとて有志者間には目下内議中なりと

◇右側を通つた方が理屈に合つてる

いろ／＼詳しい研究の結果

内地の左側通行斷行に反し朝鮮の右側通行斷行は渡來したばかりの内地人には一寸異樣に感ぜらるゝ趣旨は二者共に右側を通行せしむる左側又は街路の混雜を避けて秩序を保たんとするに外ならないので繁華なる都市になれば成る程之が斷行を必要とするが其の孰れが正しきか又孰れが比較的便利なるかに就てはあまり世人の注意を惹かない樣である。禮記の王制には『左道を執つて以て政を亂す者は殺す』とあつて其の註に『左道は邪道をいふ』

回地道は右を尊ぶ

云々漢の任次導には『左れ道に背き左道に惑ふ也』云々とあり又坊間に行はるゝ左文字さては左り前の衣服の諸方、左衽の瀧水など皆右を貴び左を卑むもの左を慣習に背きたるものとし其他左遷、左官、左袒、左舛、左顧、左遊等の文字に見るも皆右を尊ぶ是等の字義、慣習から判斷すると

回右側通行が正當

の樣に考へられる左側通行に就ては或意味から謂へば殺伐であつた武士が大小兩刀を貫へて外出するに當り古諺に所謂『家を出づれば七人の仇あり』で不斷自己の護身法に注意を怠らず、何日何時亂の爭闘を惹起しても直ちに之に應ぜんが爲め右手を敏捷に働かさんとする用意と

回左腰にある兩刀

を顧慮する點から互に左方に避けたものである又町人が老幼婦女を接けて歩く場合には之を左に伴ふた方が便利であり且保護の爲め人を避けるには自然左方に避ける樣になるので之等の慣習が左側通行の因を爲したものかと思はれるそこで二者孰れが今日實際に便利であるかといふに別に比較する程大した差異は無論ないがそれでも右側通行の方が幾分か都合がよくはなからうかなぜとなれば

回軍隊でも廻れ右

廻れ右前へ進の運動はあつても左方へ廻る各國の運動は無いし又武術に於て銃劍術槍術が體を右に振り向け撃劍が右の手足を先にするも皆敵に對する手段であつて如斯吾人の平素が既に右の手足の方が常に左の手足よりも多く使用せらるゝ結果誰れしも右の手足又は右の方向に對する運動の方が左のそれに比較して遥かに自由且敏捷になつて居る

回路上障害事故の

數は都市の繁華に伴ふて從つて增加するものであるが此の豫防は一に各人個々の注意に待たねばならない事は勿論であるが同時に人の慣習性から其の運動を成る可く自由ならしむる事が必要である此の意味に於て我朝鮮の右側通行斷行は内地の左側通行よりも合理的であると思ふ

●三百萬圓注文

永登浦皮革會社に對し今回又復露國より靴其他總額三百萬圓の第三回大注文來れるが來る八月頃受授の契約の由なり

●慰勞金三百圓寄贈

本月二十二日仁川支那町二十二番地支那雜貨商王顯山方より出火し附近は支那領事館を初め宏壯なる建物櫛比し居る事とて一時危險の狀態なりしも仁川消防組員の敏速なる活動に依り類燒の難を免れたるが右につき消防組員の功勞を感謝する爲め同町の支那商人東利昌外三名にて金二百圓を醵出し又同十三日の火災に南本町にては倉庫の危險を免れしを以て金百圓を提出消防組に寄附方を仁川署に願出でたるより同署にても組員の救恤資金として受領方を認可したりと

●水道は早く申込め

京城水道課に於てはこれまで歐洲戰亂の影響により給水取附用材料が三乃至五割方騰貴したにも拘らず從前の料金で取附けて居たのであるが愈々來る四月一日からは今度騰貴の程度により從來の公價を改訂し材料も使用されざる事となるので水道取附希望者は此の際至急申込みあるべしと

●技藝學校展覽會

京城女子技藝學校に於ては今廿六廿七日の兩日同校内に於て生徒成績品の展覽會を開催す

●籾を詐取す

京畿道水原郡水原面山樓里市木面揚明洞（三）は昨年九月末頃忠南天安郡成歡面所在の水田四石九斗五升落及び田二石三斗落を高陽郡漢江面の某に金三千七百四十圓に賣却し濟なから昨年秋の收穫に際し該土地の籾六十五石九斗餘（三百廿五圓）を詐取したる爲め水原署に於て取調べの上二十三日檢事局へ送られたり

●六圓の盗み

京城西興洞の金用淳（一九）は昨年十一月十二日午後五時頃同洞の鄭龍五（三一）方の現金六圓十九錢及び同月中同洞の李某の現金十五錢を竊取したる爲め鍾路署に引致されたり

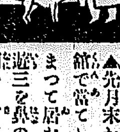
●空家に行旅病人

二十五日正午頃京城竹添町一丁目五十四番地の空家内に年齢七十歳位の乞食體の男一名倒れ瀕死の姿なるより西大門署にて救助したり

●行倒れ　二十五日午前六時頃京城某洞の道路に行倒れ人死亡し居るを鍾路署より警官出張檢視せしに住所不定の崔貞濟（六七）なること判明し屍體は府へ引渡したり

●鐵橋を通行して轢死

京畿道長湍郡津南面新山里新石保川の鐵橋上にて本月十八日午後三時半頃一名の鮮人男轢死を遂げたり同人は鐵道を通行中上り列車に觸れ頭部を粉碎され兩脚は切斷されて居るも無慚の最後を遂げたり急報に接し長湍驛派出所より所員出張檢視せしに年齢六十三歳位の者にて住所氏名不明の爲め死體は面役所へ引渡す



▲先月末から浪花館で當てゝ一寸納まつて居た落語の遊三を鼻の先きに何かを下げてるなと見て取つた京勞菊水の七郎とやらいふ奴が▲實はね貴方方の一座を一晩御招びしたいんだけど今日懐具合が惡いので一寸五十圓だけ貸して頂戴なとか何とかいふと▲委細合點の遊三は何商賣だつて資本は要らぬさと奇麗に五十圓貸してやる▲そこまでは無難だつたが七郎は其晩重な一座を白水に招き遊三は座の前も景氣々々と腕の冴えた座長を持つて仕合せだらうとお手の者の手踊りで底抜騒ぎ▲愈勘定となると七郎は、遊三さん、實は濟まない事ですがね懇に拜借した五十圓のお寶は夕方急な用が出來て其つちの方へつかつて終つたから此家の方も宜しくと出たので▲是れには遊三も少々困つたれたがつかり掛けた橋だ儘よとダイヤ入の指環を抜いて三十何圓の拂を濟して引揚げたが▲以來七郎は鼬の道切り、影も形も見せぬ其の内に遊三の方は非道諦を打掛けて仁川へ乘込む事と成つたので催促をかけるやら夫を使ひに遣るやら矢に矢の催促▲七郎は濟ましたもので、ヘン箆棒め直ぐ返へせる位、工面が好けりや何に人さんにお金なんざ借りませんよとは何方も何方そこらのうはさ

●破落戸の騙取

山口縣吉敷郡大内村生れの町田恒一郎（三一）と云ふ前科三犯の男は一定の職業もなく京城市中を徘徊し二月廿日午後三時頃本町一丁目の小間物商某方に立越し自分は總督府に奉職し居るものにて大和町の官舍に住む松田常吉といふものなるが明日俸給を受領して支拂ふべきに依り貸し呉れと櫛、笄一組石鹼一個等を騙取し右の内三點は同日若草町の質屋に一圓七十錢に入質して酒食の代に供し更に同月二十二日茶屋町より明治町大和町本町等を引廻させて俥代四十錢を踏倒したる爲め本町署に引致せらる

●奉天の南征軍

……北京行の結果同人の帰任は中……接して北京に急行せしは蓋しこれが爲なるべし中央政府の希望は奉天軍……第二十七及第二十八師より各一混成……次第歸奉すべく自ら征途に就く事は……萬これなきものとすべしと（奉天）

……第十七師團より春川鐵原及び金化……部隊は第十一師團より派遣せらる

●大豆粒選奬勵

大正四年中……は七千三百……の好成績を見たれば今……が奬勵方法を聞くに當局に於ては……で粒選の結果生産物の收穫の增……を用ひたるは一般の種類の混入……品質價格等に及ぼせる影響は（イ）收……少なく品質……良なり（ハ）價格……品質……

京城學校組合告示第一號
京城學校組合區域内ニ居住スル内地人兒童ニシテ明治四十二年（己酉）四月二日ヨリ同四十三年（庚戌）四月一日マテニ出生シタル者ハ來ル四月ヨリ就學スヘキ者ニ付其保護者ハ所定ノ入學書ニ戸籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十九日限リ京城學校組合又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ
大正五年二月十日
朝鮮總督府尹　金谷充

商業登記公告
東洋生命保險株式會社取締役尾高次郎、佐々木清麿、福島宜三、西谷金蔵、古城管堂ハ各任期滿了ノ處大正五年二月拾五日重任シタリ
右地番號ノ設定ニ依リ商號大森商店ノ使用者權乘均ノ住所ヲ京城府蓬萊町六拾番地ニ營業所ヲ京城府蓬萊町六拾番地ト變更シタリ
右大正五年貳月貳拾貳日登記
合資會社加藤洋行社員小池精次郎ハ大正五年貳月拾六日其ノ住所ヲ兵庫縣武庫郡住吉村字宮西拾貳番地ニ移轉シタリ
右大正五年貳月貳拾參日登記
京城地方法院

廣告
客年十一月十六日本府主催ニ係ル大禮奉祝園遊會記念木盃來ル三月卅一日迄本府會計課ニ於テ交付可致候條右期日内ニ印章持參受領方申出テラルヘシ
大正五年二月二十六日
朝鮮總督府

廣告
古市町瓦斯本管工事ノ爲メ二月廿七日午後一時ヨリ午後參時半迄京城一般ニ瓦斯供給ヲ中止仕候條此段廣告候也
京城電氣株式會社
京城支店

入院隨意
胃腸病院
京城南大門通三丁目（南大門店横入る）
電話一六五九番
院主　佐々木杏造

丸髷會主催慈善演藝會決算報告
一金壹千四百拾四圓五拾錢　總收入高
內譯
一金壹千參百五拾九圓　入場券前賣券壹千拾七枚賣上高
一金五拾五圓五拾錢　寄贈品賣捌金額及寄附金高
支出金ノ部
一金七拾五圓　劇場借賃
一金貳百九拾六圓九拾錢　衣裝損料
但シ運賃及ビ衣裝方二人ノ旅費宿料共
一金八拾參圓九拾參錢　劇場費、裝飾、諸給料
一金壹百六拾圓　謝儀　師匠、太夫、囃シ方給料及ビ謝禮
一金貳拾壹圓　廣告費
一金六拾八圓參拾七錢五厘　雜費　稽古中及ビ開會中
一金六圓貳拾四錢　通信費
支出合計金七百拾壹圓四拾四錢五厘
差引殘高金七百參圓五錢五厘也
右之通リ相違無之候也
大正五年貳月廿四日
京城丸髷會
第一種料理店組合
中券番
京城券番
寄贈者芳名
東亞煙草株式會社殿　日本麥酒株式會社殿　明治屋支店殿　佐藤酒店殿　山田張員殿　朝鮮新聞社殿　京城支店殿　邑井殿　江商會殿　田友兌酒殿
白水仲居殿　はつね仲居殿　大江戸仲居殿　錦月仲居殿　花の家仲居殿　清華亭仲居殿　千代本仲居殿　寳久家仲居殿　錦住仲居殿　千成仲居殿　一休庵仲居殿

村上唯吉著
心機一轉　定價十錢　郵税二錢
右内鮮文とも出版出來せり陸續御購讀願上候
申込所　京城古市町　京城日報代理部　孤松書院

カーニオラン種蜜蜂分讓
（ラングストロー巣框式金網付）
五枚充滿群價拾五圓
右の外需要に應ず
五月廿五日頃迄申込順に依り發送す
詳細は照會次第直に回答す返信不要
湖南線羅州局區内泉洞
湖南養蜂場

京日案内
●普通（一回前金三十錢（無割引）二匿名一回每に金五錢增）
小作人入用　畑三反半家屋拾貳坪付　立所外住所　京城本町三丁目　森川食料品店　517
店員入用　年齢廿歳前後にて商業經驗ある市内に確實なる保證人を要す　京城本町一丁目日下部商店　電一一二　516
●果樹栽培に經驗ある者一名至急入れたし確實なる保證人を要す　姓名在社　509
●古本買入　▲御報參上　▲地方送金　京城本町二　森田文町光堂書店　363
●福引大景品付代價表進呈　東京斯道會　京城古市町一四（電東通）電五八五　朝鮮支部　395
●種苗　北海道札幌農園　札幌　367
●古本　品物に付無比高價買入　御一報次第即刻參上　▲京城本町四丁目　電話二七八一番へ　書籍非書堂　315
▲古本買受▼　▲御報即時參上▼　▲地方即時送金▼　京城本町電話二五二七ツボヤ書店　318
▲非庸　本町四丁目　川上非庸　三番地　330
給仕（但集金兼ね）募集　十七八才迄希望者は履歴書持參さるべし相當の保證人を要す　旭町二朝鮮雜誌社　520
●番外（一回前金六十錢（無割引）二匿名一回每に金五錢增）
住宅向貸家　京城吉野町一丁目背面の新地家賃月金貳拾圓内外數戸あり入用の方は旭町二丁目小森材木店又は吉野町一丁目中野修造方へ　518

高價買入古寫眞機
京城南大門通三丁目電話五四九番
大阪上田寫眞機支店　512

忠州行牛車貨物取扱開始仕候
到著迅速運賃廉低貨取扱候
京城鍾路五丁目
振替參貳八九　電話貳貳九壹番
酒井運送店　504

賣出し氷
六萬個廉價にて讓渡たし入の儀望みの方は來談あれ
新龍山漢江通七番地元京町
大和湯　508

質
京城黄金町二丁目（永樂町停留所北入）
堀佐營業所
電話六三九番　313

恩給　年金退隱料長期立替多少不問即時御融通可申候
短期は法定利息以内にて無手數立替
京城永樂町一商品陳列館前
江州屋本店　347

解傭
販賣集金係の爲め右獨立開店致候間今後一切關係無之候
月六日解傭致候
京城黄金町一丁目
阿部善雄
三巴商會　519

千生瓢 (136)

須藤南翠作　筒井年峰畫

凱旋（一）

北之庄の城頭に、黑煙高く立ち騰るを見て、先手の諸將も暫く攻擊の手を緩め、其成行きを窺ふ折柄、後陣にあつては、はや出發の命を受けて、兵粮の炊き出し、小荷駄の梱に上を下へと騷いでゐた。

羽柴筑前守秀吉は、大垣より馳驟して志津ヶ嶽に還り、其夜のうちに佐久間玄蕃允盛政の牙營を動かして忽ち追擊に轉じ、一寸の猶豫も與へず、遂ひ立て〳〵攻め擊つたので、流石の玄蕃允盛政も、陣を立て直す暇なく、散々に敗走して、其勢は半は斃され、半は四落八散し、遂に柴田修理亮勝家も、戰はずして敗北し、僅に身を以て北之庄に逃げ入つたのであつた、其をも短兵急に尾擊して、大軍を以て孤城を壓し、今や總攻擊に移らうとする時、俄ち天守閣の炎上を望んだのであつたが、精緻細密な筑前守は、一言の下に前田利家の意見を却けて、敵將の首級を實驗せず、其翌曉に加賀追討の師を出だした。其大器と其神速とは、附隨する諸將をして、只顧舌を捲いて感歎せしめたのであつた。

一日のうちに境を越えて加賀に討ち入り、是夜は所在に宿陣して、明る二十六日には、早天より小松に進向し、只だ一揉みに揉み潰すべき結構であつたが、城の主將德山五兵衞が前田利家に依つて、城地を出して降を乞ふたので、其まゝ、小松をうち捨て、佐久間盛政が居城、尾山城に打ち向つた。

尾山城には戰場より還つた負傷者の外、僅少の人數を籠め置いて、城代の居守するばかりであるより、固より籠城の準備もなく、打つて出て快戰する勇氣もないので、只命のまに〳〵城門を開いて、封境を擧げて引き渡すより外はなかつた。秀吉は是れで加賀一國を、一矢を發さずして平定したのであつた。

この尾山城は、近い頃まで本願寺門徒の本城として、加能越三州の地を治め、果は越前までも併呑した、著名な歷史のある法城であつた。由來を釋ねると、延元四年の夏（後醍醐天皇崩御、後村上天皇踐祚の年）本願寺第三世の宗主覺如上人が巡錫して、この山崎村の丘阜を開き、小やかな道場を結んで、本源寺と名づけたのが、抑の草創であつた。其後第五世綽如上人も、この本源寺に留つて、敎化を布いた事もあるので加賀の民は漸く一向念佛を奉じ、本源寺も漸く信徒の足が繁くなつた。第八世の宗主蓮如上人も、亦こゝに錫を駐めて、一向一信の宗義を敎へたので、信順の徒は獨り加賀に止らず、能登、越中に亙つて、歩みを本源寺に運ぶ者、引きも切らざる繁昌となつた。御堂も新に大きくなり、石川郡の信徒が石川御門を寄進すれば、河北郡の信徒も河北御門を建て、御花畑、極樂橋など、段々に建て添へて、今は立派な大寺院となつた。遠近の信徒は、絕えて山崎の御堂といふ者はなく、皆御山に詣る、御山〳〵と稱したのが、早晩この丘阜の地名となつたのである。

蓮如上人歸洛の後も、看坊に有力な者があつて、御山の繁昌は衰へなかつたが、高田派の門徒と、本願寺派の門徒の間に、法脈、血統の爭ひが起つて、互ひに干戈を執つて鬪ひ遂に累代の加賀介、富樫氏を亡してからは、御山は三州の治所となつて北陸一の都會となつた。是が八十餘年續いて、先年越前をも併呑したゝめ、織田信長の大軍に討滅せられ、爾來佐久間盛政の居城として、御山の文字を尾山に改めたのであつた。

秀吉は城に入つて要害を一覽し、

『蓮如は心憎い景勝を觀るに長じた僧ぢやつた。北之庄の平場と異うて何とよい要害でおざらぬか』

『御意の通り、展望も廣し、府中如きの及ぶ所ではおざらぬ』

利家は直に之に應じた。秀吉は斜ならぬ氣色で、

『先年織田殿御使として、石山の本坊へ參つた時、寺には惜い要害ぢやと存じたが、今また此城を見申すに同じ樣な氣が仕るぢや』

『大阪も日蓮宗徒と戰ふ時、此國の城作りを呼んだとある。此城も多年の戰亂に、斯く堅固の構へとなつたものでおざらう』

『如何にも、な。』時に又左ヱの、此城に石川河北の二郡を添へて、秀吉和殿に進じ申さう。快よく受け召るか』

新刊紹介

▲牧野沃度　著者牧野千代藏氏は明治三十二年より斯世の硏究に從事し而して沃度が生物生活に絕大なる力ある事を發見し之を以て生理的療法に一大革新を與ふる事を得るに至れる實驗及び統計等を詳述す（東京市赤坂區氷川町四十七番地大日本牧野沃度硏究所）

▲婦人之友（三月號）本號は諸大家名士の小供に對する家庭上の注意希望育兒法其の他有益なる各種の記事を收む（十八錢東京府雜司ヶ谷上り屋敷 其社）

▲婦女界（三月號）記事の多種多樣なる家庭の好讀物たるを失はず（十七錢東京市牛込區市ヶ谷町 其社）

▲婦人雜誌（三月號）婦人評論の改題せるものにして例月の記事の外に不良少女に關する研究を載せたり

▲雄辯（三月號）論議界の一雄鎭にして引續き懸賞討論文男女學生交際の是非を發表す（二十八錢東京市本郷區大日本雄辯會）

シンガポール產
美人印 白馬印 パインアツプル（新荷著）
釜山 ビワコ屋

商況

大阪期米特電（廿五日）

七月限　二二九、九〇　二二九、八〇

大阪株式特電

▲米株及び東新大株高い

大阪三品

仁川米豆取引所

▲二十五日後場△大阪前止十三圓九十二錢安寄八十七錢の入電高地盤九山七十錢中川米不申先 [illegible]

▲依然保合　大阪の下寄を受けて十圓七十二錢さ寄付けの其他買氣其他買にて六十九錢と押し七十二錢と返して散會したり市况は大阪の高値に悶斷ぜざりしだけ下押しにも動かず依然保合を持續し居れり [illegible]

▲旬の賣物　相場の堅調たると月末の關係にて一向氣乘りせず然るに後場同店より出で賣物頗はれ市場の注目を惹いた [illegible]

▲取組高增大　本月十八日の取組高三期通じて九萬四千 [illegible]

▲本日の現物界　[illegible] 十錢より七十錢 [illegible] 四十錢高となれり [illegible]

二十五日の四月限

出來高　五千九百五十石
平均値段　一節　十圓七十一錢
二節　十圓七十一錢
三節　十圓七十一錢
四節　十圓七十一錢

お化粧の仕方

化粧傳授圖解 其一　貴婦人令孃之卷

① クラブ洗粉　クラブ洗粉でよく生地を洗ひ
② クラブ美身　クラブ美身ゼリーかクラブ乳液か又はクラブ美身クリームを顏と襟へすり込む
クラブ美身クリームを用ひた時は柔かな紙で輕く拭き取る事
③ クラブ白粉　クラブ煉の溶白粉かクラブ白粉を刷毛で塗る事 [illegible]
④ 牡丹刷毛　白粉が乾かぬうちに牡丹刷毛に力を入れて白粉を引きならす
⑤ 水刷毛　一面に水刷毛をする事　前につけずに置いた額さ目の上へ刷毛で他の處の白粉を引延ばすと兩さ目の上が少し他より薄く若いて白粉と顏の調和が至極よくなります
⑥ ぬれタオル　次に白粉の上をぬれタオルでこすらぬやう輕くおさえる事
⑦ クラブ頰紅　クラブ頰紅を兩頰と目の邊りに少しつける事　尙は耳朶にも少しつけるとお化粧が生々として見えます
⑧ クラブ粉白粉　クラブ粉白粉を粉刷毛に少しつけて輕く柄の方から叩きお化粧直しをする事

お化粧の順序　クラブ洗粉　クラブ美身ゼリー　クラブ美の素白粉　クラブ頰紅　クラブ粉白粉

新式説明の本化粧法圖解はクラブ本店の案出創作にかゝるものなり

美人となる化粧法

美しいお化粧の仕方と順序

貴婦人令孃實驗

先づ第一に

クラブ洗粉 を常に取り洗粉と同じ分量の微温湯で溶き、襟から顏へかけて塗り、掌でよく摩擦して洗ひ落し、タオルで水氣を取り、後で襟から顏にかけて

クラブ美身クリーム を少し引き、平に均し十分に擦込めばお肌の生地は柔かに滑かになり、お化粧の下地が完全になります。若しアレ性の方ならゼリーを引く前に

クラブ美の素 を薄く引いて、よくよく擦り込み、セーム皮か蒸タオルで拭き取り。又脂肪質の方なら

クラブ乳液 か クラブ美身ゼリー を下に引いて均してから、ゼリーを引いて擦り込むのが一番であります。斯してから不思議に生地の色迄白くする

クラブ水白粉 か クラブ煉白粉 か

又は クラブ白粉 を常に取り襟から耳の後さ、咽喉から顏にかけては濃い目に附け、お顏の方は目の周圍から兩の頰の上だけを殘して、全部を塗りも少し薄い目に附け、水氣の乾き切らぬうちに、牡丹刷毛で刷き延し、次にそれを水刷毛で前に殘して置いた目の周圍から頰の上へ引き伸し、全部の白粉を均し、落ち付けた上を濡タオルで輕く押へ（決してタオルで擦つてはいけません）目の下から頰へかけて

クラブ頰紅 で薄くはいた後で

クラブ粉白粉 を含ませた粉刷毛の柄の方を輕く叩き、それで顏から襟へかけてよく〳〵刷き均して置けば、美しいお化粧が出來上ります。又常に

クラブ白粉 と クラブ香水 を用意して居られますと、化粧崩れがしたり、汚れたりした時お用ひになれば元の儘のお化粧の美しさにかへります。

美顏倶樂部應用

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行

秀吉丸	二月廿六日	後四時出帆
大有丸	三月　四日	後四時出帆
神代丸	三月　日	後四時出帆
蛟龍丸	二月　日	後四時出帆
君が代丸	月　日	後四時出帆

仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

朝鮮郵船 出帆

國道及び外船と荷客連帶輸送の便あり、詳細は京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店（電話二一七〇）

全羅丸	三月　三日		釜山發
京畿丸	三月十三日		釜山發
黃海丸	三月　七日		釜山發
成鏡丸	二月廿六日	門司より各港寄港	釜山發
昌平丸	三月　四日		元山發
錦城丸	三月　二日		元山發
慶城丸	二月廿七日	元山より各港經由雄基行	元山發
永興丸	每月廿八回	北久味 又は長崎經由	元山發
盈德丸	二月廿八日	九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行	釜山發
江陵丸 襄陽丸	每日	長生浦、方魚津寄港	釜山、浦項發
三浦丸	二月廿八日	長承浦、統營、三千浦、麗水寄港	釜山發
海州丸 巨濟丸 統營丸 慶興丸	旬日		釜山發
順天丸	三日目每	各港經由順水行順水より釜山行に接續	木浦發
慶興丸	二月　日	各港經由濟州島行（四回）	木浦發
公州丸	三月　二日	南多島海列島行（月三回）	木浦發
公州丸	二月廿七日	各港經由濟州島行（東廻）	木浦發
全州丸	三月　二日	海州鎭南浦各港經由、鎭南浦又は白翎島行	仁川發
江原丸	二月　日	忠淸大連、群山行	仁川發
肥水丸	三月　三日		仁川發
晉州丸	二月廿七日	各港經由木浦行	仁川發
錦江丸 南陽丸	每日午前	江華島、桐西島、海州行	仁川發
平安丸	三月　三日		群山發
	二月廿七日	往航 大黑山、木浦、門司、若松行　復航 門司、木浦、群山行	若松發

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行	文神丸	二月　日	後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行	立神丸	三月十六日	後十時出帆
○門司、神戸、大阪行	小倉丸	三月　七日	後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行	小倉丸	二月　日	後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行	第三琴平丸	三月　十日	後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行	第三琴平丸	三月　一日	後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行	天眞丸	每月二日九日十六日廿一日廿六日	午後十時出帆

釜山海岸通本町 取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

直航 芝罘、大連行 共同丸 二月廿七日後二時入港 二月廿九日前九時出帆

大連にて滿鐵、南滿各港行定期船に接續 [illegible]

第一阪鶴丸 城津、淸津、浦鹽行（元山出帆） 月　日後九時出港

第三 [illegible] 西湖津沿岸各港を經て雄基行（元山出帆） 月　日前八時出帆

阿波國共同汽船株式會社 本町一丁目 電話一〇八番
仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部（電話二四四七番）
京城取次店 河村運送店（南大門電話二〇六八、二〇七）